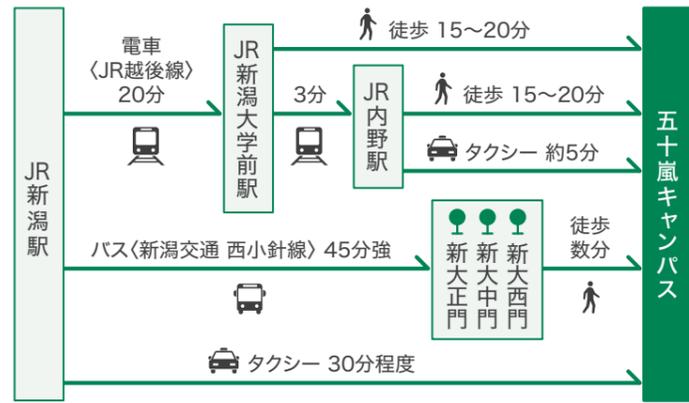


## 交通アクセス



### Access Information

- 五十嵐キャンパスの最寄駅はJR越後線「新潟大学前」駅あるいは「内野」駅です。
- どちらの最寄駅からも、キャンパスまで徒歩15～20分かかります。駅から大学へは上り坂が続きます。
- 最寄駅からタクシーを利用される場合には、駅前にタクシー待機場がある「内野」駅での下車をお勧めします。
- 人文学部（総合教育研究棟）最寄りのバス停は「新大西門」です。

## 新潟大学五十嵐キャンパス

自然環境に恵まれた新潟大学五十嵐キャンパスでは、勉強、スポーツ、レジャーなど、充実した学生生活をおくることができます。



新潟大学正門



人文社会科学系棟  
(法学部、経済学部、  
現代社会文化研究科)  
人文学部の授業は、こちらの建物でも  
行われています。



新潟大学附属図書館(中央図書館)  
様々な分野の資料を豊富に所蔵しているだけでなく、多目的で  
使える学習スペースを備える図書館です。また、大学院生が学習  
相談に乗ってくれる「図書館学習サポーター」など様々なサービス  
も提供し、日々の勉強や研究活動を支援しています。



詳細はこちら



総合教育研究棟(人文学部、創生学部)  
充実した教育スペースのほか、教員研究室、資料室などが  
揃った人文学部の教育・研究の拠点です。学生生活に必要な  
各種手続きを行う事務室もこちらにあります。

そのほか、五十嵐キャンパスには、教育学部、工学部、農学部、  
理学部など他学部・大学院の施設や各種スポーツ場とともに、  
学生寮や大学生協、学生食堂、コンビニエンスストアなど、学生  
生活に必要な福利厚生施設が揃っています。

# 新潟大学 人文学部

心理・人間学 社会文化学 言語文化学

## Campus Guide 2026



人を知り 文化を学び 未来を拓く

Faculty of  
Humanities,  
Niigata University

Psychology and Human Studies Society and Culture Languages and Cultures

2025年7月31日発行

発行/新潟大学人文学部 編集/人文学部広報・情報委員会

〒950-2181 新潟県新潟市西区五十嵐二の町8050番地 TEL 025-262-6281

(新潟大学人文学部学務係)

<https://www.human.niigata-u.ac.jp/>

印刷/株式会社 ハイニングラフ 〒950-2022 新潟県新潟市西区小針1丁目11番8号 TEL 025-233-0321



この印刷物は、印刷用の紙へ  
リサイクルできます。

# 人を知り 文化を学び 未来を拓く

## 3学位プログラム28分野に広がる多彩な学び

### 人文学部の教育理念

新潟大学人文学部は、人間・社会・文化を対象として、多角的・総合的な視野から教育と研究を行うことを理念としています。3学位プログラム28分野と幅広く人文学の諸分野について学修できる良質な環境を整えることにより、次の4点に集約される基本的能力・態度・姿勢を有する人材の養成を目標にしています。

- 人間、社会、文化に関わる諸問題に多角的・分析的にアプローチを試み、主体的に取り組むことができる。
- 社会のなりたちとその歴史を深く理解し、人類が生み出した文化に敬意を持ち、その価値を後世に正確に伝えることができる。
- 身近な課題の探究を通して、地域社会に貢献する。
- 異文化に対する理解を深め、調和ある国際社会の形成に貢献する。

### Contents

01 人文学部の教育理念	25 国際交流・大学間交流 / 留学生の声
02 学部長からのメッセージ 入試情報 / 奨学金および学費・経済支援制度	27 人文学部で取得できる資格
03 人文学部の教育	29 就職データ / 卒業生の声
05 先輩に聞いてみた! 人文学部の魅力に迫る	
07 私の時間割を教えます!	
09 心理・人間学プログラム	
13 社会文化学プログラム	
19 言語文化学プログラム	

### 学部長からのメッセージ

## あなたの「知りたい」がここにあります

大学では、自分の学びたいことを自由に学ぶことができます。人文学部ではとりわけ、学びを通じて皆さんに二つのことを身につけてほしいと願っています。一つは、視野を広げて多様なものの見方ができるようになる、とくに自分とは異なる立場を想像し、その考え方を理解できるようになること。もう一つは、迷った時につねにそこに立ち返ることができるような、自分の背骨となる思考の軸をつくることです。

この二つを実現するために、人文学部にはたくさんの専門分野が用意されています。人文学を志望する高校生が学びたいと思う領域は、だいたいカバーされているでしょう。最初のうちは、できるだけ広く学んで下さい。2年生から学位プログラムに進みますが、その一つ一つがゆったり広めに設計されています。新潟大学は、学部の枠を超えた「マイナー・プログラム」にも力を入れていて、自分の好奇心に応じて本当に幅広く学ぶことができます。複眼的な思考を身につけると、ものごとが立体的に見えてきます。

そうやって視野を広げることはとても重要なのですが、自分の「軸」がないと、どんどん拡散して、収拾がつかなくなるかもしれません。人文学部では、最終的に自分の専門分野を選び、ゼミで関心を共有する仲間と議論し、その専門を深める形で卒業論文を書いてもらいます。これまで広く学んできたことも生かしながら、自分の背骨となるような深い探求を目指すのです。広い学びと深い学び、それを駆動する好奇心と想像力は、皆さんの一生の宝物になるはずですよ。

さあ、まずはこの『学部案内』のページをめくってみて下さい。あなたが知りたいこと、学びたいことがきっと見つかるはずですよ。学生生活の様子や留学、就職などについても詳しく紹介しています。緑の多い広々としたキャンパスで、皆さんと出会えるのを楽しみにしています。



新潟大学 人文学部長

松井 克浩

MATSUI Katsuhiko

## 人文学部に入学を希望するみなさんへ

人文学部では、しっかりとした基礎学力と旺盛な学習意欲をもつ人、豊かな感性と強い関心をもって学習に取り組む人、そして人間・社会・文化に関わる諸問題に関心のある人の入学を望んでいます。

### 入試情報

入学希望者に対しては、下記の選抜を行ないます。

一般選抜	前期日程	定員 140人
	後期日程	定員 40人
学校推薦型選抜		定員 30人
計		定員 210人

そのほか、人文学部には次の特別選抜があります。

- 帰国生徒特別選抜
  - 社会人特別選抜
  - 帰国生徒特別選抜(10月入学)
  - 私費外国人留学生特別選抜
- いずれも若干人
- 3年次編入学試験(定員6人)

- 入試情報の詳細は、令和8年度入学者選抜要項および学生募集要項を参照してください。
- 入試にかかる最新の情報や各選抜区分の募集要項は、「受験生特設サイト」に掲載しています。

受験生  
特設サイト



### 奨学金および学費・経済支援制度

新潟大学は、国が実施する「高等教育の修学支援新制度」の対象機関に認定されています。一定の基準を満たす方は、給付型奨学金の支給と授業料等の免除を併せて受けることができます。詳細は日本学生支援機構のWebサイトをご確認ください。

また、本学独自の制度として、大学進学を諦めることのないよう経済的な支援を行う「輝け未来!! 新潟大学入学応援奨学金」や、一時的な学資の補助を行う「修学支援貸与金」等、各種支援制度をご用意しています。必要な方は本学Webサイトをご確認のうえ、担当窓口へお申し出ください。

新潟大学Webサイト  
学生生活・就職 > 学費・経済支援制度 > 奨学金



上記以外にも、人文学部、法学部および経済科学部に在籍している2年次以上の学生に対して無利子で奨学金を貸与する制度もあります。

# 人文学部の教育

Education in the Faculty of Humanities

人文学部では、人間・社会・文化を対象とする3プログラム28分野を、体系的かつ横断的に学ぶことが可能です。学生の皆さんが専門的な内容を深く学べると同時に、これからの社会で活躍するための不可欠な技能を身につけられるように、多彩な授業内容が用意されています。

## Curriculum

学年	1年				2年				3年				4年			
セメスター	1		2		3		4		5		6		7		8	
ターム	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4	1	2	3	4
教養教育	外国語(必修)				外国語(選択)				キャリア科目				各種選択科目(新潟大学個性化科目、人文系科目、社会系科目、自然系科目など)			
	人文初年次演習				表現プロジェクト演習											
専門教育	入門講義				基礎演習				発展演習							
					基礎講義・実習・研究法				発展講義							

卒業論文提出

新潟大学では2学期4ターム制の導入により学修を柔軟化し、海外留学や長期学外学修等との両立を実現しています。

1年次	2年次	3・4年次
<p>外国語を集中的に学びます。人文初年次演習では、25名以下の少人数編成により大学での学習に必要なスキルを身につけます。入門講義では、人文学部の各専門分野への導入を行います。また、人文諸科学の最先端を網羅する人文系フロンティア、短期集中英語プログラムiStepなど、学内外の集中的な学修プログラム等への参加が可能です。</p>	<p>1年次末の希望調査にもとづいて、いずれかの学位プログラムと専門分野に所属します。基礎講義・実習、基礎演習を通して、自分の専門分野を軸に、各学位プログラムの基本的な読解技術・分析能力を養います。2年次以降、キャリア科目や表現プロジェクト演習の履修が可能になります。</p>	<p>専門性の高い最先端の内容を、発展講義・実習を通して理解します。発展演習では、分野ごとに原典・原資料の解説、資料・データの分析・解析、プレゼンテーションや討論を通して、自らの研究テーマを深めます。人文学部4年間の成果を、卒業論文として結実させます。</p>

リアルな学生生活をのぞいてみよう！  
5~8ページ



## 人文学部の学位プログラム

2年次以降では、次ページ以降で詳しく紹介する3つの学位プログラムのいずれかに登録して学修を進めます。

- 心理・人間学プログラム** // 9~12ページ  
心のしくみを実証的に解き明かす心理学と、人間の精神が生み出してきた思想的文献を読み解く人間学を取り扱います。
- 社会文化学プログラム** // 13~18ページ  
世界の歴史的・文化的・社会的背景を、様々な調査を通して明らかにするプログラムです。
- 言語文化学プログラム** // 19~24ページ  
文化としての言語を探求していき、高い言語運用能力、鋭い言語感覚、そして豊かな表現能力を身につけるプログラムです。

※新潟大学全学の特徴である学位プログラムとメジャー・マイナー制度の関係については、大学公式サイトのほか、本案内の8ページをご覧ください。

## カリキュラムのポイント

Key Points of the Curriculum

### 広く深く学ぶ、人文学の冒険へ

幅広い教養と確かな専門知識を涵養し、人文的実践知を育むカリキュラムを用意しています。3つの学位プログラムの下に多様な専門分野を用意し、それぞれの分野について体系的な学習が行えるよう工夫するとともに、先端的な内容を紹介する講義を充実させています。1学科制であることを活かし、人文科学の諸分野を横断的に履修することも可能です。

### 対話で磨く、課題解決力

「ゼミ」「ゼミナール」とも呼ばれる演習科目は、教員と学生、学生同士の対話、学生による発表を重視する授業です。一人一人の学生が力を発揮できるよう丁寧に配慮し、きめ細やかな指導を行う少人数制の演習授業を4年一貫で実施し、課題を探求し解決する能力を含む「人間力」の育成に力を注いでいます。

### 語学力を育てる、4年間の挑戦

英語以外の外国語を学ぶ初修外国語科目では、日本人教員とネイティブ教員による週3~4コマのインテンシブ授業により、「読む・書く・聞く・話す」の4技能のバランスがとれた、総合的な運用能力を1年間で涵養します。英語・初修外国語ともに、選択科目を履修し、4年間かけて高度な語学力を身につけることも可能です。古典語科目も開講しています。

### 地域とつながる、創造と実践の学び

学生の主体的な取り組みと実践によるアクティブ・ラーニングが大きな学習成果を上げています。たとえば表現プロジェクト演習では、学生が協同して創造的活動を行い、その成果を地域社会へ発信します。文学や映像作品の製作・発表、地域の民俗芸能への参加など、これまでの人文学部の枠組みを超える先駆的取り組みは、国内外から高く評価されています。

### はじめの一歩から卒業後まで、ていねいに

学年に応じたきめ細かい教育体制により、豊かな学びを実現します。1年次には人文入門や初年次演習など、大学での高度な学修へのスムーズな移行を助ける科目が用意されています。キャリア科目では、様々な業界の現場で活躍する方々から直に話を聞き、卒業後の人生設計や就職試験について具体的に考えることができます。



山本 修斉

心理・人間学プログラム  
心理学分野  
3年  
(富山県出身)

川田 彩瑚

社会文化学プログラム  
社会学分野  
4年  
(栃木県出身)

半澤 和奏

言語文化学プログラム  
日本語学・日本文学分野  
3年  
(福島県出身)

中村 快

社会文化学プログラム  
地理学分野  
3年  
(新潟県出身)

## 先輩に聞いてみた！ 人文学部の魅力に迫る

人文学部って、どんなところ？ どんな学びが得られるの？ みなさんの疑問に答えるため、学生プロジェクト「人プロ」の代表である中村さんが各分野で学ぶ先輩たちにインタビュー。「好き」を究める学びが、社会で生きる力になる。人文学部の魅力の核心に迫ります。

### Q1

#### どうやって自分の専門を決めるの？

～多彩な入門講義や先輩の研究が、自分の「道しるべ」になる～

**中村** 私たちの学部では2年生から各プログラムに分かれますよね。1年次にさまざまな分野の入門講義を受けますが、皆さんはどのようにして専攻を決めましたか？

**川田** もともと心理学と社会学に興味がありました。1年次の講義では、先輩方の卒業論文のテーマを知ることができます。それをヒントに、特に興味を持った社会学分野の論文を自分で検索して読み込み、研究のイメージを具体化していきました。さらに、授業中の先生方の人柄に触れるなど、大学が提供してくれる豊富な材料を活かして、自分のやりたいことを見つけることができました。

**中村** 授業をきっかけに、能動的に情報を集めて決めたいですね。先生の研究スタイルとの相性も、多くの講義を受けるなかで見極められるということですね。半澤さんはいかがですか？

**半澤** 高校のときから国語が好きで、大学でも主に日本文学を学びたいと思っていました。1年次に入門講義などの分野紹介の授業をすべて履修して、先生方の専門分野や研究内容を知るなかで、漠然としていた「文学をやりたい」という思いを具体的な目標にすることができました。山本さんはどうでしたか？

**山本** 私は入学時から心理学を学びたいと思っていましたが、入門講義で他の分野にも触れたことで、心理学と隣接する専門分野の面白さにも気づきました。授業で気になったキーワードを図書館で調べるなどして、その後の学びの幅を広げることができました。

**中村** 大学の学問は、高校での勉強とは必ずしも一緒ではありませんからね。だから自分なりに調べていける環境があることも大事ですね。

### Q2

#### 専門分野はどうやって学ぶの？

～講義だけじゃない！ さまざまな実践で深まる専門性～

**中村** 社会学では学外でインタビュー調査をすると聞きました。

**川田** はい。たとえば、社会調査実習という授業では、1年間かけて自ら地域に出てインタビュー調査などを行います。現場の方々と直接対話を重ねることで、コミュニケーション能力も培われました。社会学専攻でなくても、関連科目を履修すれば「社会調査士」という資格も取得できます。私の場合は、こうした実践的な経験と資格が就職活動でも大きな力になりました。

**中村** 「何を学んだか」よりも「どう学んだか」が問われる就職活動において、能動的な学びの経験が評価されるんですね。そういう意味でも自分の学びたいことを専門にすることが大切だと感じます。文学の研究ではいかがですか？

**半澤** 平安文学のゼミでは、「源氏物語」の文章表現の工夫や和歌について学んでいて、古代の日本語のゼミでは「注好選」を扱って平安時代後期の日本語の実態を探っています。高校では文法や単語の暗記が中心でしたが、大学では違います。和歌を引用して気持ちを伝える「引歌」のような古典特有の表現技法にまで踏み込みます。作者の意図を自分で深く読み解くことで、作品をより深く味わえるのが、大学での学びの醍醐味です。

**中村** 高校とは違う視点で古典に触れられるのですね。心理学では実験もするのですか？

**山本** はい。3年次に卒業研究に向けた基礎的な実験演習があり、4年次の卒業論文につなげていきます。こうした実践的な学びも重ねながら、国家資格である「公認心理師」の受験資格取得を目指しています。

### Q3

#### 人文学部の「魅力」って、なんだろう？

～学問の垣根を越えた学びが、未来を拓く～

**川田** 私が感じる人文学部の一番の魅力は、学びのフィールドがどこまでも広がっている点です。社会学なら、社会のあらゆる事象が研究対象になります。そして、人文学部には、大学での学びを大学外に広げていく環境が整っています。だからこそ、自分の興味をとことん追求した経験は、就職活動はもちろん、その後の人生でも活かせる大きな財産になったと感じています。

**中村** 人文学部では、学芸員の資格や教員免許なども取れます。私自身もそうですが、履修の仕方を工夫すれば複数の資格を取ることもできます。まさに人文学部の魅力の1つですね。

**半澤** 分野の幅広さも魅力です。私の所属する言語文化学プログラムでも、日本だけでなく、英語、ドイツ語、フランス語、中国語、朝鮮語、ロシア語など多様な言語文化を専門とする先生方がいます。留学する学生も多く、海外から留学してくる

学生もいるので、さまざまな文化に触れることができます。

**中村** 自分の専門分野はもちろん、他の分野、さらにはこの広い五十嵐キャンパスにある他学部の授業も取れますね。

**川田** そうですね。私も社会学の授業だけでなく、英語や地理学を取っています。専攻が決まった後でも、自分の興味関心を広げていくことができます。すべての門戸が開いている感じですね。

**山本** 分野間の垣根が低く、横断的に学べるのが人文学部の強みだと思います。自分の専門分野が決まれば、それを軸にさまざまな知識をつなげて自分の力にしていけるようになります。私は、人間の心理を取り巻く環境について考えるための講義も履修しています。人文学部は、自分の世界を無限に上げられるチャンスにあふれた場所です。

#### 私たち「人プロ」が活動しています！

私たち人文学部学生プロジェクト、通称「人プロ」は、人文学部の魅力を学内外に発信する学生チームです。SNSでの情報発信、オープンキャンパスの企画運営、新入生サポートなどを通して、学生目線で人文学部の「今」を伝えています。何よりも学部内のつながりを大切に、学部内の交流活動にも積極的に取り組んでいます。(中村)

#### 「人文学部学生プロジェクト」ブログ

人文学部の学生が自ら企画・編集・執筆するブログ！  
授業やゼミ、実習、留学、就職活動など、人文学部に関する様々なトピックについて学生の視点から知ることができます。  
Instagramでは更新情報をお知らせしています。ぜひご覧ください！



Blog



Instagram

# 私の時間割を教えます！ 人文学部生のリアルな生活

## 哲学と教職の両立

心理・人間学プログラム 哲学分野 2年

上平 真大

僕は現在、哲学を専攻しながら教員免許の取得を目指しています。昨年度にドイツ語を学習していた経験を活かし、ドイツでのボランティア活動や留学生との交流をしています。そのような国際交流をきっかけとして、日本の文化や伝統についても改めて学び直しています。



### 第2 Semester (1年2学期)

時限	月	火	水	木	金
1		データサイエンス 総論			
2		日本文化論		ドイツ語インテンシブII	中級コミュニケーション英語
3	ドイツ語インテンシブII		ドイツ語インテンシブII	アカデミック英語入門R	ドイツ語インテンシブII
4	言語文化学 入門A	言語文化学 入門B	データサイエンス 基礎演習	言語文化学 入門A	言語文化学 入門B
5	心理・人間学 入門		現代思想論		データサイエンス 基礎演習 教育・学校心理学B

### 第3 Semester (2年1学期)

時限	月	火	水	木	金
1				社会学概説	
2		日本史概説	西洋史概説	朝鮮語圏グローバル理解2	日本史概説
3			人間学研究法A	国際共修:グローバル社会におけるビジネス・コミュニケーションA	アクティブラーニングC
4			キャリアデザイン		地理学概説
5		人間学基礎演習A	哲学概説	哲学	

集中講義等：生徒指導B/教育相談・進路指導B/教育方法及び特別活動の指導法B

## 学問を楽しもう！ 究めよう！

社会文化学プログラム 日本中世史分野 3年

青木 洸

私は幼少期から興味がある日本中世史を専攻しつつ、社会科地理歴史の教員免許取得のための教職科目、そして学芸員資格の授業を履修しています。全体的にバランスの良い時間割を組むことができます。授業数が多く大変に見えますが、その分授業を通して色々な人と会うことができて人脈が広がり、充実した大学生活を送れています。



### 第4 Semester (2年2学期)

時限	月	火	水	木	金
1	博物館情報・メディア論	歴史学O			教育の制度と経営
2	SDGs入門		歴史文化学基礎演習	道徳指導論	
3	アジア史概説			アジア史概説	地誌学概説
4				メディア社会文化論概説A	
5		古文書学概説B			

集中講義等：教育相談・進路指導B/生徒指導B/教育課程及び総合的な学習の時間の指導法B/生涯学習概論/古文書実習A

### 第5 Semester (3年1学期)

時限	月	火	水	木	金
1	博物館資料論	社会科・公民科教育法II			日本古典文学O
2	日本史演習		西洋史概説		
3		西洋文化史A			
4			キャリアデザイン	日本史演習	日本社会史A
5				日本史実習B	

集中講義等：日本社会史B/日本史実習A/社会科・地理歴史科教育法I/教育方法及び特別活動の指導法B

人文学部では、必ず履修しなければならない「必修」の授業は、ゼミと呼ばれる演習の授業などに限られています。学生は自分の関心や進路希望に応じて自由に時間割を組んでおり、誰一人として同じ時間割を組んでいる学生はいないと言ってよいでしょう。ここでは、その一例を紹介します。

## 中国語学の学びを深めるために

言語文化学プログラム 中国文学・中国語学分野 4年

狩野 詩

中国語に興味があったので、1年次から中国語の授業は履修し続けています。学びを深めるために、中国の文化理解に関する授業や言語学に関する授業など幅広く履修することを意識しています。言語現象の背景には文化が影響している事も多く、異なる授業でも繋がりが実感できることもあり楽しく授業を受けています。



### 第6 Semester (3年2学期)

時限	月	火	水	木	金
1					
2			外国語文献講読II		
3	日本社会史A	領域関連 特殊講義 (中国外交基礎)		民俗文化論A	言語学演習
4			中国言語文化論A	中国語セミナーH	アジア言語文化演習
5					

集中講義等：アジア言語論B

### 第7 Semester (4年1学期)

時限	月	火	水	木	金
1					
2					アジア言語文化論B
3					
4				中国語セミナーB	アジア言語文化演習
5					

- 同じ曜限が2つのマス目に分かれている場合、左欄が第1、3ターム、右欄が第2、4タームです(ターム制については3-4ページをご覧ください)。
- 集中講義等は、夏休みの1週間に短期集中的に開講されたり、不定期に開講されたりする授業を指します。

## 独自の学びを切り開く メジャー・マイナー制

人文学部では、2年次から3つの学位プログラムのいずれかに所属し、メジャーと呼ばれる自分の専門分野の学びを深めます。他方で、他のプログラムや他学部の授業を、卒業認定単位に組み込むことも可能です。新潟大学では、学生の自律的で横断的な学びを支援するために、46の系統的な教育プログラム(マイナー・プログラム)が1年次より提供されています。

人文学部の学生のあいだでは、自分自身で探究課題を設定し、課題解決のために必要な科目を選択して履修する「学修創生型マイナー」プログラムが最も人気です。ほかに、履修すべき科目と修了要件が定められた「パッケージ型マイナー」プログラムがあります。人文学部生には、「社会文化学」など自分の所属学位プログラム以外の学位プログラムがパッケージされたものや、「ドイツ語」や「フランス語」などの外国語のパッケージ、「データサイエンスリテラシー」「ふるさと共創学」「法学」「ことづくり・マネジメント」「応用生命科学/食品科学」など、学部を横断するプログラムの人気が高いです。



# 心理・人間学プログラム

Psychology and Human Studies

## ひとは何を思い、生きるのか？ 人間という謎にいどむ

私たちにとって、人間という存在ほど不思議なものはありません。ひとの心はどのように働き、何を生み出すのでしょうか。このプログラムでは、実験や調査によって心のしくみを実証的に解明したり、人の心が作り出してきた思想的文献や古今の芸術作品を読み解いたりすることで、人間の謎に迫ります。

【専攻できる分野】 心理学／芸術学／哲学／倫理学／宗教思想史

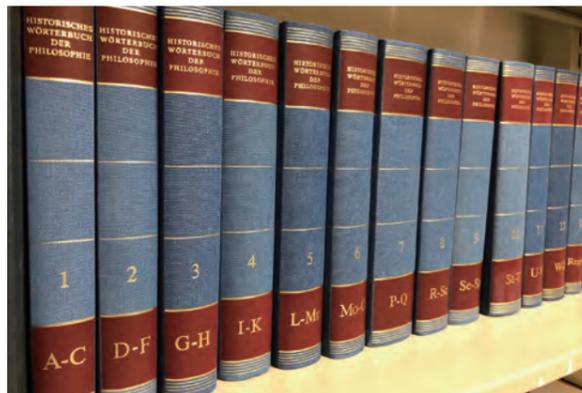
### 心理・人間学プログラムについて

心理・人間学プログラムは、人間とその心の解明をめざして、心理学と人間学の分野を学ぶプログラムです。

人間の行動やその心の働きをあつかう心理学分野では、実験や調査などの実証的方法によってこれらの問題にアプローチします。心理学実験や調査に関わる基本的技能を身につけるとともに、知覚・認知、記憶・学習、感情・行動、性格、対人関係や集団の心理、心理学の応用など、幅広い領域にわたる心理学の知識の習得を目指します。

人間学分野には、哲学・西洋哲学史、倫理学、宗教思想史、芸術学の学問領域があります。人間の心(精神)は、日常的な言語活動から哲学的な思考、芸術の探究にいたるまで、そして道徳的な善悪の判断から宗教的な信仰にいたるまで、じつに多様な精神的所産を生み出してきました。人間学分野では、主として外国語や古典語で書かれた原典文献の読解を通して、これら哲学、宗教、科学、芸術などの人間の知的な営みの原理を解き明かし、人間性について理解を深めていきます。

このプログラムは、人間が直面する様々な課題に対して、人間についての深い理解に裏づけられた科学的分析と思考ができるような人材の育成をめざします。



### 教員からのメッセージ

## 「こころ」の科学としての心理学

私自身が高校生であった頃、心理学に対して「性格と行動の間にはどのような関係があるのか、良い相談相手となるにはどうすればよいのか、を研究する学問」というイメージを抱いていました。全く誤りとも言えないのですが満点とも言いきれないものです。皆さんはどのようなイメージを抱いているのでしょうか。

ここで私が行った研究を紹介します。高速移動する物体を高時間解像度で画面に提示すると、物体の移動距離が縮んで知覚されることを見つけました。方法として、まず高時間解像度での画像提示が可能な高速プロジェクタを心理学実験で使用できるよう、装置を調べてソフトウェアを設定しました。移動物体の画像やその見え方を測定するための準備は全てプログラミングによって行ないました。実験では参加者の方々の回答を二択とすることでデータを数値化し、統計的に処理しました。その結果、高速移動する物体は提示開始位置が運動方向にずれ、提示終了位置が運動方向と正反対に少しずれて知覚される(=移動距離が短く見える)ことを見出しました。つまり、私はヒトの視覚メカニズムについて実験をしたということです。

いかがでしょうか。皆さんが抱いているイメージと違いましたか？上に挙げたようなテーマは知覚心理学で扱っています。心理学には他にも、認知、社会、発達、臨床、神経生理、学習、言語、教育、人格、産業・組織、交通…など、ヒトに関わる活動全てと言っても

応用・実験心理学

准教授 中嶋 豊 NAKAJIMA Yutaka

過言ではないほど幅広いテーマが含まれます。こうしたテーマの違いがあっても、現代の心理学では自然科学的手法による実験や調査によって「こころ」の働きを数値に変換し、それをデータとして分析する手法でその働きに迫ろうとする点は共通しています。

心理学は“Hub Science”とも言われるように、文理問わず多くの学問とのつながりが強いことが特徴です。人文学部の心理学分野では多角的な観点から「こころ」を見つめ、その働きを解明するための研究を進めています。皆さんも「こころ」を科学的に捉えてみませんか？



## 哲学とは何か

「秩序は全てのものにとって同一であり、神が創ったものでも人間が作ったものでもない。常にあったし、あり、また、あるだろう、常に生き続ける火として。相応しい分だけ燃え、相応しい分だけ消える」(クレメンス『雑録集』V105から。訳文は納富信留『ギリシア哲学史』によるもの。)

哲学とは、「問い」を提起し、それに対して「応答」する、絶え間ない営みのことです。西洋哲学史上、最初に立てられた問いは、初期ギリシアの哲学者タレスによる、「万物のアルケー(始まり・原理)は何か」というものでした。上に引いたのは、同じく初期ギリシアの哲学者ヘラクレイトスが残した断章です。「火」というのが、タレスの発した問いに対するヘラクレイトスの応答だったというように覚えている人も多いでしょう(アリストテレスも『形而上学』でそうした整理を行なっています)。

しかし哲学にとって重要なのは、「火」や「水」といった答えそれ自体ではなく、問いを提起し、それに応じ、さらにその答えについて吟味するという絶えざる努力の方です。しかも、ただ漠然と問いを立てれば良いというわけではありません。目の前で生じている事柄や私たちが置かれている状況に相応しい言葉や表現の仕方がどのようなものであるかをよく考えてからでなければ、解決不可能な問いや有害な問いが生じてしまうこともあるからです。その意味で、

哲学・現代思想

准教授 岡嶋 隆佑 OKAJIMA Ryusuke

上の断章の「常に生き続ける火」は、哲学のあるべき姿についての私のイメージにもなっています。

哲学は、宇宙や時間、自由や責任といった古典的なものから、環境倫理や人工知能といった現代的なものまで幅広い主題を扱う分野であるため、私一人だけで立てることができる問いは非常に限定的なものです。みなさんそれぞれの関心、観点から生じた問いについて一緒に哲学できるようになることを願っています。

(写真は人間学の学生・教員で行なった焚き火会の時のものです。)



## 学生の声

### 揺さぶられる

哲学と聞いてどのような印象が浮かびますか。部屋のなかで本とにらめっこしながら黙々と考えている姿が浮かびますか。たしかにそのとおりです。けれども、わたしは本を読んで考えることだけが哲学の魅力ではないと思います。本を読むことに加えて、だれかと対話することも哲学の営みのひとつです。だれかの本を読んだり、だれかと対話することで、自分が今まで出会ったことのない考えを前にして、わからなくなったり、驚いたり、感動したり……。そうして考えはじめると、わたしがじかにふれている日常がすこしずつ揺さぶられるような。わたし自身が、木の枝のようにあらゆる方向に広がっていくような。わたしが見ていた景色とはすこしちがう景色がそこに浮かび上がってくるような。このような体験が哲学することの魅力だとわたしは思います。

#### 菊池 誉

哲学 3年



### 普遍にあこがれて

古代ギリシアの彫刻や陶器画を見ると、むしろに「いいなあ」という気持ちが湧いてきます。いったい自分は美術のどこに心惹かれているんだろう？と考えたとき、美術作品のもつ普遍性にあこがれていることに気がきました。はるか遠い昔に異国の地で作られた作品が、修復等で多少人の手が加えられているにしろ、ほぼ作られたときから変わらないままでそこに在る。そして、私たちが作品を見て得た感動を、当時の人々も感じていたのかもしれない……。そう考えるとなんだかドキドキしてきませんか？もちろん古代だけでなく、中世や現代の美術作品もそうです。大昔から今に至るまで私たちの心を動かし続けてきたアートについて、ぜひ学んでみませんか。目まぐるしい情報社会のど真ん中に生きている私たちに大事なことを教えてくれるはずですよ。

#### 大平 詩乃

芸術学 4年



### ひとひと人

毎日駅で見かけるだけの人を気になるようになったことはありませんか？性格の素敵な人が見た目で魅力的に見えることは？私たちは見たり、聞いたりあるいは嗅いだり触れたりして世界と関わり、考えたり感じたりします。心理学では人間の心の動きを科学的に分析しようと試みます。実験を通じて、ある刺激に人がどのような反応や行動をするかを調べ、心の仕組みを探ります。しかし面白いことに、同じものを見ても違うふうを感じることや、逆に全く違う性格の人がなぜか同じ行動をとるようなことだってあります。身近で不思議な人の心を解き明かしたい！という方はぜひ心理学へ！

#### 渡辺 陽介

心理学 3年



### 心理・人間学プログラムで学べること

人間とは何か？ / 人間の認知のメカニズムを探る / 学習と記憶のしくみを知る / 集団の中の心の動き  
美術作品を通じて人間性を考える / 子どもの心の発達を知る / 欲求の心理を探る / ひとはなぜ誤るのか？  
哲学的に思考し、議論する / 造形芸術の歴史を学ぶ / 人類の思想的遺産を読む / 宗教を思想的に理解する  
科学的な方法論とは何か？ / 哲学や思想の歴史を学ぶ / 近現代の美術と写真 / 生命と環境の倫理学へ  
古典詩学の文化史を学ぶ / 王朝の言語芸術を読み解く / 古典語(ラテン語など)を学ぶ / 現代の視覚文化

## 心理・人間学プログラム 教員紹介

教授 宗教学・イスラーム思想史

### 青柳 かおる

AOYAGI Kaoru

ガザリー(1111年没)を中心に、アラビア語の文献を読みながら、古典時代のイスラーム思想史、とくにスーフイズム(神秘主義)を研究しています。ガザリーの「婚姻作法の書」を翻訳し、婚姻、女性、セクシュアリティについてスーフイズムの視点から研究してきました。最近では、現代のイスラーム法学者の文献も分析し、古典時代から現代までのイスラームの女性問題および生命倫理の変遷を明らかにしたいと考えています。

准教授 哲学・西洋近代哲学

### 阿部 ふく子

ABE Fukuko

デカルトの「我思う、ゆえに我あり」に始まる西洋近代哲学の根源的なテーマである「人が考えるとはどういうことか」について探究しています。古来より人間は理性的動物であると言われますが、その理性の能力の可能性や限界はどこにあるのか—など理性の謎に迫ってみるのは、人間が自分自身を知る思考の旅のようでも面白いです。また哲学教育にも関心があり、多様な立場の人たちと身近な話題で哲学対話を実践したりしています。

教授 映像文化論

### 石田 美紀

ISHIDA Minoru

専門は映像コンテンツを構成する視聴覚表現を分析する映像文化論です。最近ではアニメにおける声の歴史と機能について研究を行っています。コンテンツ・ビジネスはさまざまな表現を商品として社会に流通させます。私たちはそれを楽しむのですが、受動的に消費しているばかりではありません。コンテンツを能動的に読み解き、ときには自ら表現も行っています。制作者と受容者の交渉からなる映像文化のダイナミズムと一緒に考えてみませんか。

准教授 比較文化史

### 猪俣 賢司

INOMATA Kenji

小さな真珠のような一首の歌の中に繰り広げられる煌めくような妖艶な世界や水底の月夜、それを可能とする巧みな修辞技法と美しい韻律、どのようにして「古今和歌集」でそれが実現されたのであろうか。比較詩学・比較文化史の視点から、西洋の古典詩学・ルネサンス詩学や中国の六朝詩学と日本の王朝歌学を比較研究してきました。ダンテ、ペトラルカ、謡曲からゴジラ映画まで、その表現原理と表現史を辿りながらも、屏風歌人である紀貫之の「むすぶ手」が映し出す泡沫の面影に心が慰められます。

准教授 哲学・現代思想

### 岡嶋 隆佑

OKAJIMA Ryusuke

ベルクソンを中心としたフランス現代哲学が専門です。これまでは、時間や意識、知覚、記憶といったテーマを中心に研究してきました。今後は、差別感情やビデオ・ゲームの哲学などより応用的な主題にも取り組んでいく予定です。学生の皆さんには、哲学・倫理学の思想に触れることによって、与えられた課題をこなすのではなく、自ら問いを立てることができる力を養って欲しいと考えています。

准教授 芸術表現論

### 甲斐 義明

KAI Yoshiaki

専攻は近現代美術史で、中でも特に、写真の歴史について研究してきました。授業では日本写真史、20世紀美術史、ドキュメンタリー映画、イメージ論、絵本など視覚文化に関する幅広いトピックを取り上げています。少人数で行われる演習形式の授業では、他者が作った画像の分析方法を学ぶだけでなく、デジタルカメラや画像処理ソフトの使用を通して、「手を動かして」イメージについて考える機会を作ることをご希望しています。

准教授 発達心理学

### 小林 恵

KOBAYASHI Megumi

視覚認知、特に顔や身体からの他者認識の発達過程が主要な研究テーマです。生後数ヶ月の赤ちゃんから大学生を対象としており、視覚認知のさまざまな能力がいつ獲得されるのか、大人とどのように違うのかを研究しています。近年では学内外の共同研究者と協力して、発達障害児や早産児の視覚認知の解明にも取り組んでいます。私たちが何気なく見ている日常の世界を、赤ちゃんの目を通して見つめ直せるのがこの分野の魅力です。

助教 分析哲学・道徳哲学

### 須田 悠基

SUDA Yuki

真理論・認識論・メタ倫理という3つの哲学分野を専門的に研究しています。いずれの分野の研究も、〈ある主張の正しさがいかに定まるのか〉という関心と紐づいています。「今日の天気は晴れだ」という主張は空を見れば正誤がわかりますが、「暴力は悪い」といった倫理的主張の場合はどうか。なにがその主張の証拠となるのか。このような問題関心に連なる問いを、前述の3つの分野の視点から検討しています。関心のある方はぜひ一緒に考えていただけたら嬉しいです。

教授 西洋美術史

### 田中 咲子

TANAKA Emiko

専門は西洋美術史です。美術史とは、必ずしも美術の歴史そのものを研究するとは限らず、美術作品を手掛かりに、当時の社会や人間の諸相の解明を目指す学問でもあります。私自身の研究領域は古代ギリシア美術です。当時の墓碑浮き彫りをはじめとする葬礼美術や、壺絵に描かれたギリシア神話、スポーツの図像などを通して、当時の人々の価値観や規範概念について考えています。授業では西洋古代から現代に至る幅広い作品を扱います。

准教授 応用・実験心理学

### 中嶋 豊

NAKAJIMA Yutaka

主に眼の錯覚(錯視)について研究しています。錯視は見て面白いだけでなく、人間がどのように世界を知覚しているかを知る重要な手がかりなのです。また、今後身近になる技術(自動運転、拡張現実)に対して人間の知覚特性を最大限に生かすための応用研究も行なっています。このように研究対象は知覚に関する疑問から社会の問題まで幅広いです。心理学実験を通して、こうした疑問や問題と一緒に取り組んでいきましょう。

准教授 認知心理学

### 新美 亮輔

NIIMI Ryosuke

認知心理学の研究をしています。主に視覚認知、周囲の物や状況を見て認識する物体認識・情景認識といった人間の知覚・認知の根幹となるメカニズムを調べています。たとえば、見る角度や表情や髪型が違って同じ人の顔を同じ人と認識できるのはなぜでしょうか。みんなに好まれる美しい見た目とそうでない物があるのはどうしてでしょうか。人目のみによって見るにあらず! 「見る」ことの奥深さと楽しさを追究してみませんか。

教授 社会心理学

### 福島 治

FUKUSHIMA Osamu

講義では、自尊心や魅力、恋愛や集団心理などが話題の中心です。身近な事柄なので、自らの経験と関連させて聴く学生さんも多いようです。人格心理学も教えています。こちらでは、性格についての様々な理論を話しています。専門家の考える性格は、一筋縄ではとらえきれませんが、そこから考え方の多様性を学んでほしいと思っています。研究テーマは自己概念の変動性です。入学して新しい「自己」を見つけましょう。

准教授 西洋哲学

### 安田 将

YASUDA Masaru

私が書いてきた論文の多くは、西洋古代における知恵の概念に関するものです。知恵を求める哲学の営みには、そのめざすものを繰り返し省みることによってすぐれた探究となるという性質があるのではないかと、そして知恵にはそのように誠実な探究者によって時には存在そのものをも疑われることによってかえって理想としての地位を保つというふうかという特徴があるのではないか—この見通しのもとに、私は西洋古代のテキストに注目してきました。

助教 臨床精神神経心理学

### 横山 仁史

YOKOYAMA Satoshi

うつや不安といった様々なこころの状態を作り出す脳のしくみを調べています。脳がどのようにそれらの気分を引き起こし、自ら調節しているのかといった基礎的な理解から、どのような場合にそれがうまく働かないのか、治療を通して脳がどのように回復していくのかといった応用的な取り組みも行っています。人の精神的健康のメカニズムを脳から解明していく面白さを一緒に探しに行きましょう。

## 世界の多様性に触れ、文化を読み解く

ますます多様化する現代社会——その理解は、歴史的・文化的・社会的背景を正しく捉えることに始まります。各種の資料の調査、あるいは現地調査やメディア実践を通じて、文化の生き生きとした姿に触れるとともに、深く理解する力を身につけましょう。

**【専攻できる分野】** 社会学／考古学／文化人類学／地理学／民俗学／芸能論  
日本史／アジア史／西洋史／メディア論

### 社会文化学プログラムについて

社会文化学プログラムは、人間の社会文化的な営みを、歴史学、社会・地域文化学、メディア論の各領域を通じて学びます。履修にあたっては、一つの領域を選んで深く学ぶとともに、複数の領域を関連・総合させて学習を進めます。

歴史学では、歴史をテーマとして、人々の営みを専門的に学びます。歴史を明らかにするための資料・史料は、古文書や碑文、木簡、絵画、写真や地図、統計など、じつに様々な形をとって私たちの前に蓄積されています。それぞれのテーマに合った資料・史料の性質を理解し、読み解くスキルを身につけます。

社会・地域文化学は、社会学、文化人類学、民俗学、考古学、地理学、芸能論の6つの学問分野があり、いずれもフィールドワーク＝現地調査を通して学びます。直接現地に足を運び、自らの身体を使い、五感を働かせて調査し考えることで、人々が築いてきた世界を実感し、人間社会の多様性の理解を深めます。

メディア論では、TV、新聞、ラジオ、コンピュータ、スマートフォン、インターネット、ソーシャル・メディアなど、私たちの身の回りにあふれる様々なメディアと、それが伝える表現や文化を捉え直し、多様なメディア実践——取材活動や作品制作を通じて、現代社会で生きることのリアリティを探求していきます。



### 教員からのメッセージ

## 改訂されていく過去

歴史というと、どうしても年代、出来事、人名の暗記を思い浮かべる方が多いと思います。しかし大学で扱う歴史学という学問は、教科書や解説書に書かれてあることについて、本当にそうかと疑うことであり、その根拠を確かめることであり、場合によってはこれまでの思い込みを打ち破って新しい見方を示そうとすることです。そしてその積み重ねによって、過去の出来事についての考え方を豊かにしていくことです。

私の専門は西洋古代史、特に古代ギリシア史や古代オリエント史ですが、世界中の研究者によって毎年多くの論文が公にされ、それらに対する賛否両論の議論を経て全体として歴史像が毎年刻々と変化していきます。大学で歴史学を専門として学ぶということは、その現場に触れ、自らその活動に関わっていくことです。

この100年間の学界で西洋古代史に関して生じた大きな変化の例の一つ挙げると、ヨーロッパ史と古代オリエント史の関係についての考え方の激変があります。かつてその関係については、相いれない対立部分が強調されて語られることが主流でした。しかし、ヨーロッパ史のスタート地点とも言うべきエーゲ文明で使われていた古代文字の一部が1950年代に解読されてからは、エーゲ文明と古代オリエント文明が重要な特徴を共有していることが明らか

西洋古代史・西洋古典学

教授 高橋 秀樹 TAKAHASHI Hideki

になり、世界中の研究者が二つの文明の交流や共通点を研究テーマとするようになりました。このことは、エーゲ文明を含む古代ギリシア文明全体と古代オリエント文明の関係の再検討、そして古代ギリシア文明を端緒とする西洋文明とアジアの文明の関係の再検討へと波及しました。

歴史学は、過去の出来事扱うものであるだけに、もう変わることをない静止したものとしてイメージされることが多いですが、実際には大小さまざまな新発見と研究によって刻々と動き回っているものです。みなさんもその現場に触れてみませんか。



エーゲ文明クノッソス宮殿の遺跡

## 操作でも隷従でもない生き方

あなたは自己操作感をしっかりと持っていますか。自分が動作の主体であるという感覚のことです。「♪言ってるのかわかれてんのか、やってんのかやらされてんのか、ほんとのところはどなん!?」。ラッパー、鎮座DOPENESS『mode』という曲にこんな歌詞があります。

ただ、自己操作感だけで満ちた身体もまた良くないのだと思います。それは周囲が見えていない証拠だから。そのさじ加減が難しい。そこで、どう生きるべきかまず手がかりとなるのは、いま、あなたがなにに恐れているかを点検することでしょう。

フランス人は、フランス革命を経て「個人的自由」を解くことになりましたが、それより以前に、アメリカの先住民モンタニュ＝ナスカビは、宣教師たちに対して、「フランス人はつねに目上の人間を恐怖しているという点で奴隷と変わるところがない」と批判したと言います(D. グレーバー & D. ウェングロウ『万物の黎明』)。なるほど、自由の思想は、西洋起源ではなさそうですし、そもそも起源などないのかもしれない。異文化の人々の知的生活について研究するのは、「人間を『自由』にするもっとも教育的に有効な方法だ」と、ある人類学者は語ります。

自己操作感に満ちた傲慢な自由でもなく、かといって、自己が他者に乗っ取られていることにも気付かず、それがまるで自然だと

文化人類学

准教授 園田 浩司 SONODA Koji

感じている自発的隷従でもない、ちょうどよい個人的自由のありかたは、人文学部で培うことができ、とわたしは考えています。

学術研究では、ある研究課題に対して、研究者の主観や偏見で、問いかげや答えを押し付けないことが目指されます。あくまで「研究者は資料の僕(しもべ)、資料が主人公である」と考えます(澤田昭夫『論文の書き方』)。様々な資料やデータ、そして現実世界に自己を委ね、社会と関わりながら、自己を知る。その点、研究も人生も同じです。大学生活を通して、あなたにちょうどよい自由な生き方を見つけてください。



## 地理学から何がみえるか

2022年から、高校で地理総合が必修化されました。そのためか、近年、地理学者による、地理学に親しむための図書が多数、出版されており、みなさんの中には、その中の1冊を手にとったことがある方もいらっしゃるかもしれません。

地理学の社会的認知度の高まりとともに、地理学はどのようなことをする学問か、という問いがしばしば、私のもとにも寄せられるようになりました。

実は、この質問に正確に答えることは、意外と難しく、地理学者が100人いたら、100通りとは言わないものの、50通りぐらいの答えが返ってきて不思議ではないほど、人によって考えにバラツキがあります。

例えば、上に掲げた写真は飛行機の窓から奈良盆地を撮影したのですが、ある地理学者は、整然とした水田の形状に注目して、古代の条里に由来する地割が、いかにして現代まで存続してきたかを論じています。

別の地理学者は、郊外の道路沿いに大型のショッピングセンターが広がっている様子に注目し、この地域の商品購買行動のパターンに思いを寄せたり、統計データと照らし合わせて大阪大都市圏の拡大の現れを捕捉しようとしていたりするかもしれません。

また、別の地理学者はため池の分布に目を留めて、この地域の気候や、灌漑体系について調べたり、干害や水害といった災害の

人文地理学  
教授 堀 健彦 HORI Takehiko

リスクを見積もったりするでしょう。

このように、ある意味何でもありな状況を見ると、雑然とした学問であるという印象になるかもしれませんが、見方を変えると、地理学では、己の関心に従って自由にあらゆる領野を横断し、さらには文系理系両方にまたがる隣接分野も含めて、つないでいくような在り方を許容されているととらえることができるでしょう。

高校までの地理と大学での地理学は、近い関係にあります。必ずしもイコールではありません。高校の地理のイメージだけにとらわれることなく、自由に、自分らしい地理学の在り方を探す旅に出かけてみませんか。



韓国・朝鮮史  
教授 山内 民博 YAMAUCHI Tamihiro

使役していた両班の側が、連れ去られた彼らを取り返してほしいと地方の役所に訴えた文書です。ですから、子どもたちに逃げられた側の視点で書かれており、内容をそのまま信じるわけにはいきません。とはいえ、「丐乞」とよばれた貧しい人びとの行動・家族関係・社会関係などが具体的に浮かびあがってくる史料でもあります。このように史料にふれ、そのなかに生きている人びとにであい、また、そこから生まれる疑問に向きあう。大学で歴史を学ばなかに、みなさんもきっとそうした体験をしていくことでしょう。



## 史料のなかに生きる人びと

歴史学を学んでいると、いろいろな史料にであいます。最近、ある史料を読んでいると「夫妻流離乞食」とか「丐乞女率其一子一女」といった文字が目に入ってきました。この史料は19世紀前半の韓国の訴訟文書で、「丐乞」は「かいぎつ」と読み、乞食のことです。

書かれている事情は入り組んでいるのですが、どうやら大きな飢饉のために食べる物のなくなってしまった家族——両親と9歳の男の子と5歳の女の子の4人家族です——が村を離れて「流離乞食」することになりました。ところが、父親は途中で餓死してしまい、母親はたどりついた村のある両班(韓国語でヤンバンといい、有力者のことです)の家を頼り食料を分けてもらいます。道ばたに草をかぶせただけで置いてきた夫の遺体が気がかりだった彼女は、さらにその両班に埋葬の費用を出してもらえないかと頼みます。すると両班は、将来彼の家で彼女の子どもたちを使役することを条件にお金を出しました。もう少しわかりやすくいうと、母親は夫を埋葬するため子どもを売ったということになります。その後、彼女は子どもたちを置いてその家を離れ別な村で再婚しますが、子どもたちを完全に見すててしまったわけではなかったようで、10年あまりたって彼らを両班の家から連れ出すことに成功します。

込み入った話をしてきましたが、実はこの史料は、子どもたちを

## 世界を広げて自由に生きよう!!

「文化人類学」、それは、自分の「当たり前」から解放され、より自由に生きるための学問だと思います。自らと異なる文化に触れ、他者の視点からその生き方を知ると、世界の見え方は変わってきます。それはまた、自己の捉えなおしでもあるのです。そして、自分の世界がどんどん広がり、ゆたかになっていく。それがとっても楽しいです!! 私自身、フランス留学中も、日本での日常生活も、文化人類学の見方や考え方にいつも支えられてきました。今では、それが私の人生の指針にもなっています。

あなたの身の回りにあるさまざまなものが、すべて文化人類学の研究対象です。難しく考えなくて大丈夫! さあ、対話とフィールドワークを通して、あなたも自分の生き方を見つめなおしてみませんか??



久須美 諒典  
文化人類学 4年

## メディア論、想像以上!

「メディア」と聞いて何を思い浮かべますか? テレビ、新聞、インターネットなどの「狭義のメディア」を思い浮かべる人が多いと思います。メディア論分野では、これらに加えて、サブカルチャーや音楽、アーカイブなどの「広義のメディア」も探求の対象としています。例えばある授業では、AIを使って曲や動画を制作するグループ課題に取り組むことで、可能性も限界も踏まえたAIとの付き合い方を学びました。他にも、メディアの歴史やテレビ・広告の表現技術、映像制作、デジタルアーカイブなどについて、座学と実践の両面から学べるのがメディア論分野の特徴です。メディア論を学んでいると、何気なく捉えていたメディア現象も、新たな視点から見つめ直すことができるようになります。あなたの興味や関心を幅広く受け止めてくれるメディア論分野で、私たちと一緒に楽しく学んでみませんか。



坂上 亜優  
メディア論 3年

## 社会文化学プログラムで学べること

現代社会における市民運動 / ジェンダーの社会学 / 学習と教育の人類学 / 絵図を考える・絵図から考える  
日本の歌舞音曲 / 新潟の暮らしと伝承 / 日本とアジアの考古学と文化 / 戦国期の地域と権力構造  
日本近世の地域と交流 / 20世紀日本社会の歴史を多角的に考える / 古代エジプト人とフェニキア人の歴史  
西洋美術史 / 現代アメリカの民主主義思想 / 中国の国家と社会の変化 / 日本とアジアの関係史 / 朝鮮家族史研究  
インターネット・モバイル社会 / 今日の映像文化 / ポピュラー音楽研究

## 考古学のイメージと現実

皆さんは考古学についてどのようなイメージを持っていますか? 考古学とは単に遺跡を発掘するだけではなく、その結果をもとに当時の人類の生活を研究する学問です。私自身高校生までは間違った認識をしていましたが、実は「恐竜」を代表とした古生物は考古学の対象外なのです! 実際に大学では実習として新潟県内外の遺跡発掘を経験します。発掘調査は新潟大学の先輩方、さらには他大学の学生とも協力し、会話を楽しみながら行うため、互いの関係が深まる良い機会にもなります。さらに出土した遺物や調査成果の整理によって研究方法を学び、卒業論文に繋げていきます。全員が大学から考古学を学び始めるため予備知識などは全く必要ありませんので、少しでも興味のある方は私たちと共に学んでみませんか?



岩井 冠  
考古学 3年

## 歴史学を学ぶ

大学で歴史を学ぶと聞いて、何を想起するでしょう? 高校よりも詳細な歴史を学ぶのでしょうか。大学で歴史を学ぶとは、歴史学を学ぶことであり、それは史料に基づいて、新たな歴史の見方を示す術を学ぶということです。歴史の存在を裏付ける史料に直接触れること、これが高校までとの違いであり、楽しさでもあります。史料の読解には困難もあり、断片的な史料の解読は苦勞します。しかし、種々の史料の分析や比較を経て、過去の事象や人物の在り方を捉えられたとき、その感慨は大きいものです。また、歴史学を学ぶとは、「歴史」とは何かを考えることでもあります。「歴史」が自明のものではないと知ったとき、今まで学んできた歴史に対し新たな見方ができるはずです。歴史が好きな人はもちろん、今興味をもった人も、ぜひ歴史学を学んでみてください。



神山 明遵  
日本史 4年

## 社会文化学プログラム 教員紹介

准教授　地域社会学

## 伊藤 嘉高

准教授　文化人類学

「自己責任」の名の下、格差や孤立が広がる今日において、私たちが「共生」し、助け合うことは困難になる一方です。人びとが集まれば自然に社会（助け合いの単位）が生まれるわけではありません。むしろ、課題を共有し、課題をともに解決する動きから共生の意識が生まれます。そうした共生の意識を生み出す場としての地域社会の可能性を追求するために、私は、防犯、防災、医療などのさまざまな分野で調査研究を行っています。

准教授　文化人類学

准教授　メディア論

## 榎本 千賀子

情報通信技術を活かして、地域の記録や記憶を保存・継承・活用することを目指すデジタルアーカイブ活動について、福島県奥会津地域での実践を中心に研究しています。また、人々が環境と応答して生み出す身近な「かたち」に関心を寄せ、写真作品の制作に取り組んでいます。変化の激しい現代において、地域の過去・現在をいかに捉え、未来へと繋ぐことができるのか、みなさんとともに自ら手足を動かしつつ考えたいと思っています。

准教授　文化人類学

助教　地理情報科学・自然地理学

## 太田 凌嘉

私は、折れ尺から加速器まで、課題解決に最適なツールを適用したフィールドワークを基礎として、自然環境の成り立ちとその変化を駆動するシステムを探究しています。私たちが身近な環境の恵みを楽しむと共に、自然災害を我が事と捉えて近未来に起きうる事象に備えるには、地球表層における気圏・水圏・地圏・生物圏の相互作用領域（Critical Zone）の機能を理解してゆかなければなりません。必要と疑問を糧として、一緒に研究しましょう！

准教授　文化人類学

准教授　日本中世史

## 片桐 昭彦

日本中世史のなかでも戦国時代の権力と文書について研究しています。具体的には、上杉謙信や武田信玄などの印判状・感状・制札がどのように発給され機能したのか、またその意義を探ることにより地域権力の構造や特質を考えています。授業では、文書に限らず日記や年代記、金石文など様々な中世の文献史料を読み解くとともに、考古・地理・民俗学などの成果に学びフィールドワークも取り入れていこうと思っています。

准教授　文化人類学

准教授　メディア論

## 古賀 豊

メディア論を専門としています。近代以降の社会は、印刷、写真、映画、TV、コンピュータ、インターネットといった様々なメディアの登場により、それまでの社会と比べて大きな変容を遂げています。今日、その変容の速度はますます増加し、我々の生活のあり方そのものを変えてしまうかのようです。このような時代は、ある意味では、たいへん興味深く、面白いものです。現代という時代の意味を、皆さんといっしょに考えていきたいと思います。

准教授　文化人類学

教授　考古学

## 白石 典之

今から800年ほど前、ユーラシア大陸の東西にまたがる巨大国家となったモンゴル帝国と、その建国者チンギス・ハンについて考古学から研究しています。なぜ強大な国が誕生したのか、チンギス・ハンとはどういう人物か、いまだ謎に包まれています。それは文字資料（史料）にウソや誇張が多いからです。そこで私は、彼の宮殿跡や武器工房跡を発掘し、出土した遺構や遺物など物質資料（モノ）から、その謎に実証的に迫っています。

准教授　文化人類学

准教授　メディア論

## 杉原 名穂子

家族社会学、教育社会学、ジェンダー論を専門としています。女性と男性でどのような違いがあるのか、進学先や就職先の決定、子どもの教育に家族が及ぼす影響について研究しています。家族のあり方や子どもの進路選択は地域によっても違いますが、新潟県と首都圏との違いに主に焦点をあてて調査を行っています。近年、格差社会ということが話題になっていますが、子どもや親が親く希望や意欲のあり方についても注目しています。

准教授　文化人類学

## 園田 浩司

アフリカ熱帯雨林に暮らすカメルーン狩猟採集社会バカBakaの人々を対象に、フィールドワークに行ってきました。狩猟採集社会は、老若男女問わず、みなが平等で対等な社会だと言われます。バカの子どもたちは、日常生活を通してそれをどのようにして学んでいるのか。それが私の問いです。文化人類学は、相手の視点に立って世界を捉えなおす学問です。ぜひ、世界の人々の様々な生き方に触れてみてください。

准教授　文化人類学

教授　西洋古代史・西洋古典学

## 高橋 秀樹

西洋の古代や中世を研究しています。今年の授業で取り上げているのは、古代エジプトの歴史・文化・神話、古代ギリシアの歴史・文化・神話、中世の英雄伝説（アーサー王、ローラン、エルシッド他）、ケルト文化などです。古い時代の歴史や文化は、まだまだ謎が多く、新しい発見や研究方法によってそれまでの研究が大きく変わることがある、エキサイティングな分野です。この面白さを多くの学生諸君に伝えたいと願っています。

准教授　文化人類学

准教授　西欧政治思想史

## 高橋 康浩

専門は西欧政治思想史、アメリカ思想史。キリスト教神学思想史にも関心があり、アメリカにおける宗教と政治の関係、現代民主主義の政治理論を中心に研究しています。演習においては、アメリカ史を舞台に上記のテーマや、戦争と平和といった政治外交上のテーマ、人種問題などのアメリカ国内のテーマについても考察の対象にしていきたいと考えています。

准教授　文化人類学

教授　情報メディア論

## 中村 隆志

今、ケータイによる人々のコミュニケーションと、ケータイが作り出す様々な文化と広告について研究しています。多くの人がケータイを持っていますが、その歴史はまだ浅く、逆に言えば、我々の日常生活や人とのつながり方を今まで以上に変えていく可能性を秘めています。最も身近にあるケータイを通して、広い世界や社会、文化を研究・考察していく道が皆さんの前に広がっているのです。共に進めることを願っています。

准教授　文化人類学

教授　日本近現代史

## 中村 元

日本近現代史の中でも特に都市史を専門としています。これまでは主として20世紀前半期の大都市周辺の都市における空間的・政治的・社会的変化の相互関係に注目し、近代日本における都市形成と「デモクラシー」の関係を研究してきました。今後は時間的には20世紀後半期、空間的には都市周辺の農村にも視野を広げつつ、人々の社会におけるリアルな在り方に即して日本近現代史の全体像を見通す方法について、皆さんと考えていきたいと思っています。

准教授　文化人類学

准教授　芸能論

## 中本 真人

日本の古代から中世にかけての芸能を中心に研究しています。古代から近世までの貴族たちは、和歌や書だけでなく、音楽や舞を中心に芸能にも通じていることが求められていました。貴族たちの芸能は、具体的にどのようなものだったのでしょうか。また彼らは、誰から、どのような方法で芸能を学んだのでしょうか。絵画や彫刻、文学などとは異なり、過去の芸能は一切形に残りません。その形に残らない芸能について、過去の文献と現代の芸能実演の両方を調査することにより、具体的に明らかにしたいと試んでいます。

准教授　文化人類学

教授　日本近世史

## 原 直史

江戸時代の都市や商品流通を主な研究対象にしており、地域社会の構造と変容に大きな関心を持っています。「近世」という時代は日本列島において、ウェスタン・インパクト以前の伝統的な社会が最も成熟した時代であり、その時代を探ることは、私たちの現在と未来を考えるうえでとても重要な意味を持つと考えています。授業ではしたがって、こうした近世社会を多様な角度から検討しようという心がけています。

教授　中国近現代史

## 広川 佐保

准教授　中国近現代史

20世紀初頭の中国東北やモンゴル地域の歴史、そして日本とアジア関係史について研究しています。中国やモンゴル、台湾の史料館で史料を探索し、歴史の舞台を自らの足で歩くことに努めています。そうすることで史料と現在の人々の暮らしがつながり、今日的な問題を考えるきっかけにもなります。大学では近現代のアジア史関係の書籍や資料を通読していますが、教室を飛び出してフィールドを歩くことをすすめています。アジア近現代史には、まだ研究されていない分野が多く残されています。皆さんのオリジナルな研究や発見を期待しています。

准教授　中国近現代史

教授　西洋中世史・西洋美術史

## 細田 あや子

准教授　中国近現代史

ヨーロッパ中世の文化史に関心を持ち、とくに美術作品とキリスト教文化との関係を探っています。生と死、天国と地獄、天使と悪魔、聖杯の謎など、怪しげなものにひかれ、それらがどのように表現されているのか考察中です。授業では、ロマネスクの素朴な聖母マリアさまの彫刻から、ゴシック期の大聖堂建築、ルネサンスの巨匠たちやフェルメールやレンブラント、さらに近現代の芸術家まで視野をひろげつつ、学生とともに美術史の面白さを学んでいます。

准教授　中国近現代史

教授　人文地理学

## 堀 健彦

人文地理学の中でも、歴史的な側面を重視しながら地理事象を考察する歴史地理学が専門です。最近では、明治期に作製された地籍図という資料を使って、歴史的な景観を精緻に復原する作業を佐渡島で行っています。また、近世会津藩が作成した『新編会津風土記』に記されている地理情報についてもGISを活用して分析を進めています。細かな作業の積み重ねですが、それらが組み上がって全体像が徐々に見えってくるのが醍醐味です。

准教授　中国近現代史

助教　民俗学・博物館学

## 牧野 由佳

准教授　中国近現代史

民俗学を専攻し、特に民俗芸能の伝承が社会情勢から受ける影響などについて研究を行っています。民俗学は身近な文化をフィールドワークで調査し、地域住民とのコミュニケーションを通じて学ぶ学問です。深く探求することにより、きっと新しい世界が開けるでしょう。また、私自身は高校時代から学芸員職に憧れ、博物館での勤務経験を経て、現在は博物館学の授業も担当しています。講義を通じて、博物館の社会的意義と魅力を伝えたいと考えています。

准教授　中国近現代史

教授　社会学理論・災害社会学

## 松井 克浩

准教授　中国近現代史

個人の自由を支えるような人と人とのつながりは、どうすれば可能になるのか。それを理論研究と地域研究の両面から考えます。理論の方は、M・ヴェーバーをもとに、権力や秩序、コミュニケーションを成り立たせるメカニズムについて研究しています。地域研究では、中越地震・中越沖地震の被災者・被災コミュニティを調査して、被災地の再生や災害に強い地域社会のあり方、災害ボランティアの役割などについて考えています。

准教授　中国近現代史

准教授　中国近世史

## 村上 正和

17世紀から19世紀にかけての中国の都市社会学・文化史を研究しています。特に伝統中国の人々が持っていた価値観や心性、社会の中で生き抜こうとしたその試行錯誤の軌跡をたどることに関心があります。授業では中国や台湾で調査した清代の文書史料のほか、絵画や小説、演劇・芸能作品も幅広く取り上げます。様々な史料に触れて自分の常識がゆらいでいく驚きと、中国について考えていく楽しさを皆さんと共有できればと思っています。

准教授　考古学

## 森 貴教

准教授　中国近現代史

専門は考古学で、朝鮮半島から日本海沿岸を主な対象地域として弥生時代とその並行期の研究をしています。稲作や鉄器の導入が当時の人々の暮らしや交流のあり方にどのような影響をもたらしたか、考察を深めています。最近では、弥生時代の終わり頃の高地性集落遺跡の発掘調査によって、「魏志」倭人伝に記された「倭国乱(わこくみだれる)」とは何かを追究しています。フィールドで、オリジナルな発見の喜びを伝えられたらと思います。

准教授　中国近現代史

教授　韓国・朝鮮史

## 山内 民博

准教授　中国近現代史

韓国の田舎をまわりながら、朝鮮王朝時代の社会について研究しています。授業では、古代の新羅・高句麗・百濟から現代の韓国・北朝鮮まで、家族や村落、国際関係など様々な面から朝鮮社会の歴史的な性格を追求していきます。古くから中国・日本と密接な交流関係をもちつつ、独自の世界を形成してきた朝鮮半島の歴史を学ぶことは、新たな視点から東アジアや日本について考える契機にもなることでしょう。

准教授　中国近現代史

准教授　民俗学・博物館学

## 山田 祐紀

准教授　中国近現代史

民俗学の立場から、新潟県内の村落における土地慣行を研究しています。権利や義務、人びとの感情が複雑に絡み合う中で、なぜその慣行を実施してきたのか、あるいはその慣行が終焉したのはなぜなのかを、フィールドワークを基軸に文献史料も用いながら探っています。暮らしに根差した学問である民俗学を「いま・ここ」に生きる皆さんとともに展開していきたいと思っています。

准教授　中国近現代史

助教　民俗学・博物館学

## 言語文化の学びが誘う多様性の世界

言語文化学の学習・研究領域は多岐にわたります。言語学は言語そのものの不思議を深く学び研究します。文学は文学作品を読みこみ作者の意図と作品の意味を探ります。文化学は文学以外の様々な文化現象を考察し理解を深めます。

**【専攻できる分野】** 日本語学・日本文学／中国語学・中国文学／朝鮮語・朝鮮文学  
イギリス文学・文化／アメリカ文学・文化／英語学  
ドイツ文学・文化／フランス文学・文化／ロシア文学・文化／言語学

### 言語文化学プログラムについて

日本、中国、朝鮮、イギリス、アメリカ、ドイツ、フランス、ロシアの言語・文学・文化を専門的に学び、高い言語運用能力を身につけるとともに、鋭い言語感覚と豊かな表現能力を養います。

言語分野では、言語表現の音声、形態、意味、構造、用法などの規則性・法則性の考察を進め、さらに、言語の歴史的变化や普遍性・個性性などの奥深さを理解します。そして、文学分野では、古代から現代まで生み出されてきた詩歌や劇、物語、小説などの文学作品を研究し、人間の優れた観智に触れ、普遍的諸問題についての考察を深めます。また、文化分野では、芸術、歴史、社会の変動など、幅広い文化的事象に関して知識を拡げ、多角的な視野と分析的思考の陶冶をはかります。

本プログラムでは、異なる言語・文学・文化を横断的に探求し、総合的に把握することによって、多様な価値観が存在する国際社会の中で生きていくために必要な柔軟な思考力を伸ばし、協働的な行動力を身につけることができます。言語文化研究の専門性は、国語科および外国語科の教育、日本文化の世界への発信、外国の文化の翻訳や通訳など、国際社会で活躍する人材がますます求められる官公庁や民間企業で活躍するためにも活かしていくことができます。



### 教員からのメッセージ

## 文学はことばをつなげる

文学研究は、ことばのつながりを追うものです。作品の中に「宗助はそれを眼に見えない愛の精に、一種の確証となるべき形を与えた事実と、ひとり解釈して少なからず喜んだ。」(夏目漱石「門」十三)という一節が出てきたら、「愛」が主題だと考えて読み続けるでしょう。あるいは、「愛」が登場した箇所から振り返って、前の部分に関わる内容がないか読み直そうとするでしょう。文学作品は、ことばをつなぎ合わせて内容が組み立てられた建築物のようなものです。研究では、構造や語り手という概念を用いて、その連続する仕組みを分析します。また、ことばは、思想や風俗を映し出し、時代と共に変化するものです。同じ「愛」という言葉でも、時代によって内容は異なります。「じぶんとそれからたつたもひとつのたましひと 完全そして永久にどこまでもいつしよに行かうとする この変態を恋愛といふ そしてどこまでもその方向では決して求め得られないその恋愛の本質的な部分を むりにもごまかし求め得ようとする この傾向を性欲といふ」(宮澤賢治「小岩井農場」パート九)愛と欲を区別するのは作者の独創と思えますが、同じ時代の人々のものの見方も反映しています。作品は、同じ時代の読者に理解される必要があるため、同時代の思想をふまえるものです。研究は、作品が関わる同時代の思想を調べて、作品のことばの、今の私たちの考えに通じる面と異なる面

日本近現代文学  
教授 長沼 光彦 NAGANUMA Mitsuhiko

を明らかにしながら、離れた時代のことばと私たちをつなげます。さらに、作品の中のことばのつながりを見出し、過去のことばを現代につなげるのは、私たち自身の読解です。他でもなく私たちが、ことばをつなげて作品世界を頭の中で創り上げ、それぞれの時代のことばの多様な意味を参照しながら、作品に表された思想を再現するのです。私たちの読解次第で、文学は豊かなものになるわけです。文学研究を通して、私たち自身が作品の価値を高める力を身につけるのです。



## 中国語を旅する

私の研究分野は中国語の言語学です。中国語におけるものの考え方について探究します。中国語は漢字を使う言語ですから日本語との共通点も多くあります。しかし、一見同じようでは異なる部分など、日々、面白い発見があります。私の研究テーマの一つに、中国語レアリア研究というのがあります。中国語圏で生活する人々が日常的に見たり聞いたりする中国語表現にはどのようなものがあるかについて考察します。例えば、COVID-19が流行していた時期の標語に「戴口罩、勤洗手。測体温、勤消毒。少聚集、勤通风。(マスクをつけて、こまめに手洗い、体温測って、こまめに消毒、集まり控えて、こまめに換気)」というのがありました。おおよその意味を字面から感じ取れるのも中国語ならではの3文字が連続するリズムの中、「勤」という文字が絶妙なアクセントになっていることが感じ取れます。「少聚集」の「少」は本来「少ない」という意味の形容詞ですが、ここでは「聚集(集まる)」という動詞の前で連用修飾語として用いられ「少なめに、控えめに」という意味を表し、延いては「婉曲的な禁止(集まらないように)」を表しています。ほかにも、「同舟共济、共渡难关(同じ船の者が助け合い、共に難局を乗り切ろう)」という標語も見られました。「同舟共济」とは日本語で言う「呉越同舟」のことで、社会啓発の標語に故事成語が出てくるのもいかにも中国語らしい点です。日本語では「敵対

中国語学  
准教授 干野 真一 HOSHINO Shinichi

する者同士が一緒にいる」という意味の印象が強い言葉ですが、中国語では「共济(共に助け合う)」という言葉がある通り「共通の目標で協力すること」という意味で用いられます。もともと一つの話から出た表現であっても、中国語と日本語で解釈の焦点に違いがあることが分かります。中国語を旅する楽しみは、このような簡潔な表現が一つ一つどのような文法で組み立てられて生き生きとした言葉として成立しており、それがどのように読み手に伝わるのか、その一連のプロセスを丹念に観察するところにあると思います。



## 大学でブンガクを学ぶということ

「ブンガクなんてただ愉しめばいいじゃん。わざわざ大学まで来てブンガクを学ばなくて……」こんな声が将来の学生諸君から聞こえてきそうです。それに対し、われわれ教員は「人間性を陶冶する」だとか「感受性を豊かにする」だとか「想像力を鍛える」などといった、もっともらしい答え——じっさい間違っていないのですが——でやり過ごすことが多いのですが、ここでは違った角度から「ブンガクの効用」について考えてみましょう。

まず、ブンガク(文学研究)は具体的に何をするかというと、おもに作品や作家に関して、未解決の問題に答えを出したり、従来正解とされてきた説に対し異議を申し立て、新たな主張を展開したりするといったことを行います。そのためにはまず、(1)その作品や作家について、これまでになされてきた研究業績を調査・分析し、どこが不十分なのか、あるいはどこが適切でないのかを検討する必要があります。そしてそのうえで、(2)自分ならではの主張を組み立て、(3)他の誰もが納得できるような論理的な議論でそれを提示するわけですが、以上3つのプロセスは、ひとり文学研究のみならず、あらゆる分野——研究職はもちろん、営業職の会社員だろうと公務員だろうと——の知的活動に応用できるものです(もっと言うなら、理系のそれとも本質的には異なることに気づかれるでしょう)。

また、文学研究では「テキスト」(ここではとりあえず「文字表現」と理解してください)を分析します。たとえば「このテキストを語って

アメリカ文学

准教授 平野 幸彦 HIRANO Yukihiko

いるのは誰か?」と問うてみると、「そんなの筆者に決まってるじゃない」と言われるかもしれませんが、ことはそんなに単純ではありません。ここでは詳しい議論は省きますが、語り手は筆者であるとは限らない。というかむしろ、たとえ一人称(「私は」)で語っていたとしても、筆者と同じではあり得ないのです。文学研究ではそのことが端的に表れている詩や小説を扱う場合が多いのですが、同じ理屈は文学以外のあらゆるテキスト——たとえばドキュメンタリーや報道記事のたぐい——にも当てはまります。

かくして、何かと「役に立たない」と非難されることの多いブンガクですが、じつはすこぶる実用的な学問分野なのです。



## ドイツ語という船で未知の海に乗り出す

私はドイツ言語文化分野でドイツ語教育を担当しています。「ドイツ語は難しそう」とよく言われます。しかしドイツ語は文法が複雑な一方、発音はアルファベットの規則通りでOKですし、さらには言いたいことを論理的に表現することができます。もちろん、詩的でウィットに富んだかたちで表現することも可能です。ドイツ語の面白い例をいくつか見てみましょう。咳払いをする直前の様子は「喉にカエルがいる」(einen Frosch im Hals haben)、目の前にあるものを見落としていることは「目にトマトが置いてある」(Tomaten auf den Augen haben)などなど。また、ホームシック(Heimweh)の反対語にあたるFernweh(遠くまで行きたい、強い憧れの気持ち)のように、日本語や英語にはないドイツ語独自の美しい表現もたくさんあります。日本語学習歴が長い私は、こうしたドイツ語の表現をみなさんにどうしたらわかりやすく、そして楽しく教えることができるのかを試行錯誤するのが大好きです。

ドイツ語は大学1年生で基礎のABCから勉強するわけですが、私自身の外国語学習の経験を積極的に教授法に取り入れています。また、楽しむことがもっとも高い学習効果をもたらすことが外国語教育学の見地からも明らかですので、学生が楽しめる授業を第一に考えています。1年生の授業ではドイツ語で俳句を書いたり、3年生の授業では全編ドイツ語の短編映画を撮影したり、ドイツ語

を勉強するだけではなく、ドイツ語で作品を作るという実践も大切にしています。

ドイツ言語文化分野は小さな分野ですが、ドイツ語圏にまつわる文学・思想・文化を幅広く勉強できます。その基礎になるのがドイツ語学習です。学生それぞれの興味分野に必要な語彙や文法、そして文化に関わる知識をオーダーメイドの形で示すことが私の役割です。

みなさんと一緒に、計り知れないほど深く、鳥肌が立つほど美しく、たまにゲラゲラ笑えるほど可笑しいドイツ語・ドイツ文化の海を冒険できることを楽しみにしています。



ドイツ語教育・ドイツ文化学・日本研究

准教授 アンニャ・ホップ Anja HOPP

## 日本語の“あたりまえ”が、ちょっと面白い。

「私は学生です」「私が学生です」——この二つの文の「は」と「が」の違いを問われて、すぐに自分の答えを出せる人は少ないと思います。しかし、私たちは普段、この二つを自然に使い分けていますよね。では、「は」しか使えない時、「が」しか使えない時、両方使える時、そこにはどんな違いがあるのでしょうか? 日本語学では、こうした共通点や相違点を丁寧に探ることで、人のことばに対する感覚や考え方を知ることができます。私は、この「人々のことばに対する潜在的な意識を探ることこそ、日本語学の魅力だと思っています。私も日々研究していて、日本語の知らない一面に驚くことばかりで、学ぶほどその奥深さに魅了されています。だからこそ、ことばが好きな方はもちろん、なんとなく面白そうだった方も、きっと新しい発見があるはずですよ。」



水戸部 羽衣

日本語学 4年

## 英語学への招待状

「英語学」と聞いてどんなことを思いつきますか? 高等学校までの英語科の授業で学習してきた英語という言語への疑問から始まります。「なぜknightのkを発音しないのか?」「なぜ目的語を動詞の直後に置くのか?」「書き替え可能な構文は本当に同じ意味なのか?」用例を集めながら理論を駆使して背後にある現象を客観的に説明することを試みます。研究を進めていくと、外国語の知識が増えるだけでなく、「言語の面白さ」に気づくはずですよ。それは、表面上では捉えられない言語構造や認知処理を解明することで、無意識に言語を操る人間の精神を探る醍醐味を堪能でき、他方、実際の言語活動を観察すると、文化や人間の発想との関連による言語の多様性にも出会えます。外国語教育も盛んな人文学部は「言語の面白さ」を発見するのに最適な環境だと思います。



島守 快聡

英米言語文化 4年

### 言語文化学プログラムで学べること

人間言語のしくみを解明する / 語や文の組み立て方の法則性 / 日本の近現代文学と時代背景  
『源氏物語』などの王朝物語の世界 / 日本の古典をくずし字で読み調査する技術 / 近現代日本語における音声・語彙・文法の姿  
日本語の変化・変遷 / 中国語の歴史の変遷 / 中国近代以前の文学史と作品の読解 / 朝鮮半島および在日朝鮮人の言葉と文学  
イギリス近代小説の読解と分析方法 / 英語の発音の規則性 / 英語と日本語の比較研究 / 英語で書かれた詩の読解  
近現代ドイツの文化・思想 / フランス文学・芸術作品の解釈 / 近代フランス小説や詩の分析方法 / 近現代ロシアの文化・芸術

## 好奇心の次のステージに飛び込む

韓国文化と聞くとK-POPや美容・ファッションが思い浮かぶでしょうか。最近では世界中でK-コンテンツの人気が高まっています。隣国ではあるものの、日本とはまたちがう華やかな韓国文化に、いつも驚かされると同時に魅了されます。

私は、韓国時代劇ドラマの原作小説をもとに、韓国の現代社会における女性像について研究しています。もともと韓国ドラマ鑑賞を趣味としていた私が、このテーマを選んだのは単に「好きだから」だけではありません。好きを極めると次に「なぜ?」が出てきます。私はこの疑問や気づきが好奇心の次のステージだと思います。原作小説やドラマ研究についての参考文献を読んだり、電子辞書には載っていない表現の意味を調べたりと、自力では難しいことも、納得いくまでとことん取り組み熱中できる環境です。趣味を学びとして追究することで、日常世界が今までとは打って変わって面白く感じられるはずですよ。好きを極める人は「最強」です。(写真はソウル市内の北村にて)



笹川 寧々

朝鮮文学 4年

## Bon voyage! フランス語がひろく、知の冒険へ

フランス言語文化学プログラムでは、フランス語という言語を学ぶだけでなく、文学や思想を通して、その背景にある文化や歴史にも深くふれることができます。2~3年次には、世界的に有名な『星の王子さま』や、ユゴー、ブルーストといった作家の作品を原文で読み、翻訳も参考にしながら、自力で読み解く力を養いました。あわせて、作品が書かれた時代や社会的背景への理解も深まりました。3年次にはフランスへの交換留学を経験し、現地の授業や日常生活を通して、多様な価値観にふれる貴重な経験を得ました。現在は、ゼミでルソーの『人間不平等起源論』を読みながら、現代社会に通じる不平等の問題や、哲学的な文章の論理構造・言葉づかいを読み解く力を磨いています。言葉の奥に広がるフランスの世界を、あなたも体験してみませんか?



渋谷 ののか

フランス言語文化 4年

## 言語文化学プログラム 教員紹介

教授 古代日本語論

## 磯貝 淳一

ISOGAI Junichi

古代から近世に至る日本語の実態と変遷を「なま」の言語資料を用いて説明します。同じ「古典」でも、活字と古写本とでは知り得る情報に大きな違いがあります。読みやすさを手にする一方で、私たちは古典との断絶にも向き合っているのです。「なま」の資料の一字一字を辿ることは、過去の〈今・ここ〉、即ち音韻・表記・語彙・文法が当時の書き手達の「息づかい」と共にあった状況をリアルに追体験することにほかならない私は考えています。

准教授	イギリス文学・イギリス文化
<b>市橋 孝道</b>	ICHIHASHI Takamichi
19世紀中頃に活躍したイギリスの文豪サッカレーとディケンズの作品を中心に、ヴィクトリア朝時代の文化全般についての研究も進めています。二人の作家は大英帝国の繁栄を様々な角度から描いており、類似点もあれば興味深い相違点も多く見受けられます。近代文明の基礎が築かれていく時代に創作された彼らの作品には、そうした社会や文化に対する人間の詳細な心理を読み取ることができ、現代の私たちにも通じる部分があります。	

教授	言語学・言語類型論
<b>江畑 冬生</b>	EBATA Fuyuki
研究対象は言語です。言語は物ではないので、実際に手にとって調べるわけにはいきません。人間の言語活動を観察する必要があります。人間が意思を相手に伝える際、言語が手段になります。物理的には音声が用いられます。音声が対話者の耳に入り意味として理解されたときにはじめて、伝達が成立します。発した瞬間に消えてしまう音声と、客観的に捉える事が難しい意味。ある種つかみどころのない音声と意味を、なんとか科学的に解明しようとするのが言語学です。言語は我々にとって身近すぎる存在ですが、ふだん意識されないその構造には驚くべき緻密さが見られるのです。	

教授	英語学
<b>大竹 芳夫</b>	OTAKE Yoshio
「ことばは文化の乗り物、心の鏡」であると言われます。英語ということばには英語話者の文化や発想が映し出されます。授業では、英語に特有の仕組みを観察しながら、英語話者の生き生きとした感覚や発想、異文化と自文化の価値の多様性、そして人間の心の働きとことばの仕組みの結びつきを探求します。また、応用言語学的見地から、言語理論と英語教育との接点についても考えます。最新の言語学や英語教育の研究成果を、わかりやすく、深く、面白く皆さんに伝えることを心がけています。	

准教授	英語学
<b>北田 伸一</b>	KITADA Shinichi
生成文法理論という理論的枠組みに基づいて統語論の研究をしています。具体的には、英語や日本語などの個別言語の間に観察される変異や、同じ英語であってもイギリス英語とアメリカ英語の間に変異が観察されますが、これらの変異がどのような仕組みによって生じているのかに興味をもった研究をしています。また、こうした言語間変異の仕組みから抽出される普遍的な言語一般の特性の解明にも関心を持って研究をしています。	

准教授	ロシア文化
<b>畔柳 千明</b>	KUROYANAGI Chiaki
近世・近代ロシアを中心とする文化史が専門です。国家や地域の枠組みを逸脱して活動する人々に関心があり、近年は特に、中国・北京に存在したロシア人居留地の歴史を研究しています。ロシア文化にはドストエフスキーに代表される小説、思想、宗教など、ほかに無い物語が数多くあります。授業ではロシア文化に関するテキストを選んで精読することで、対象を認識し、それを物語として書きあらわす意義と一緒に学びたいと思っています。	

准教授	中国文学
<b>小島 明子</b>	KOJIMA Akiko
中国清末の文学と周辺の文化背景に興味をもち、特に王国維の詩・詞・文学論と『教育世界』という雑誌について研究しています。授業では中高では学ばない中国文学に着眼し、研究する上で基礎となる資料を、古典を中心に幅広く選定し、精読を行い、読解力を養う訓練を行っています。しかし、授業は一つのきっかけにすぎません。大学での学問はここから始まります。これを機にたくさん作品に触れ、自ら世界を広げていってください。	

准教授 日本中古文学

## 高橋 早苗

TAKAHASHI Sanae

平安時代に創り出された『源氏物語』や『夜の寝宴』などを中心に、王朝物語の世界について日々考えています。「豪華絢爛」といった言葉が付与されがちな王朝物語ですが、その華やかなイメージとは裏腹に、多くの作品に「憂愁の思い」が深く織り込まれているところに心惹かれます。授業では、上記以外の作品も取り扱います。テキストの表現一つ一つを吟味したうえで、各人それぞれの「読み」を提示してもらいたいと思っています。

教授	フランス文学
<b>津森 圭一</b>	TSUMORI Keiichi
『失われた時を求めて』の作者として知られるマルセル・ブルーストの研究をしています。ブルーストが作品中で「風景」をどう描写しているかというテーマに取り組んでいるうちに、「風景」とはそもそも何か、という問題に関心が広がっていきました。授業では、「風景」を表現する手段である「文学」、「庭園」、「建築」、「絵画」、以上4つの領域をめぐって、皆さんと意見交換できることを期待しています。	

教授	日本近現代文学
<b>長沼 光彦</b>	NAGANUMA Mitsuhiko
明治時代以降の日本近現代文学を対象として、同時代の思潮や風俗との関係を研究しています。例えば、明治時代の夏目漱石『三四郎』を読むと、主人公の大学生生活は今と変わらないように思えます。一方で、その恋愛や世の中に対する考え方は、今と少し異なるようです。過去の文学には、現代に通じる面と、その時代特有の価値観を反映した面があります。共感しながらも、その時代特有の思潮や風俗を知ること、文学の読解をより深めることができます。	

教授	英語教育の社会学
<b>グレゴリー・ハドリー</b>	Gregory HADLEY
21世紀のグローバル新自由主義の社会の中、学生をグローバル市場や企業の課題に対応させることが求められています。しかし、学生の知性を鋭く、自分自身とは異なる人々や社会に対する見方を洗練させることのほうがより重要だと信じています。そのようなスキルを身につけた卒業生は地域社会と国際社会の両方に多大な貢献をすすと思います。このような信念のもと教育研究を行ってまいりますので、どうぞよろしくお願いたします。	

准教授	アメリカ文学
<b>平野 幸彦</b>	HIRANO Yukihiko
19世紀前半のアメリカの作家エドガー・アラン・ポーを中心に研究を進めています。また、英語教育における文学作品の活用法や翻訳論などにも関心があります。文学を始め、芸術を学ぶ意義は、異なる時空に生を享けた人々の想像力が生み出した偉大な作品から、21世紀の日本に生きる我々固有の問題や、人間存在に普遍的なテーマを考えるための手がかりを得ることにあると思います。皆さんも、この汲めども尽くせぬ智恵の泉を探ってみませんか。	

准教授	日本近世文学
<b>廣部 俊也</b>	HIROBE Shunya
江戸時代は「文学」の意味がもっとも揺れた時代だったと言えます。本格的な古典文学は過去のものであり、西洋的な近代文学は到来していない時代。別の見方をすれば、堅苦しく考えず、資格も問われずに誰もが気楽に文芸に参加できた時代なのかもしれません。結果、現在の私たちが「日本的」だと感じるものの多くがこの時代に形作られました。そういう自由な空気が好きで、戯作・俳諧・歌舞伎・浮世絵などについて考えています。	

准教授	朝鮮文学
<b>藤石 貴代</b>	FUJISHI Takayo
日本では漢字が「真名」であり、漢字を書き崩して「仮名」ができましたが、ハングルは漢字や仮名とは制字原理を異にする表音文字です。朝鮮王朝4代目の国王、世宗の時代に、建国叙事詩「龍飛御天歌」を作るなど試行を経て公布されました。高麗時代から科挙が行われた朝鮮では漢文こそが文章語でしたが、ハングルで詩歌が記録されるようになり、17世紀頃からハングル小説も登場します。辞書をひきき一緒に解読してみませんか。	

准教授 ドイツ語教育・ドイツ文化学・日本研究

## アンニャ・ホップ

Anja HOPP

外国語としてのドイツ語教育(DaF)の研究と実践を行なっています。コミュニケーションスキルズ(スピーキング、リスニング、ライティング)、長文読解、和独の翻訳はもちろん、CLIL(Content and Language Integrated Learning)の可能性にも興味を持っています。またドイツと日本の近現代における消費文化やアート、さらにはサブカルチャーを美術史/文化学的視点から考察しています。日本から見たドイツ、ドイツから見た日本のイメージの変遷にも関心を寄せています。ドイツ語の奥深さを学ぶことを通じて日独関係の意外な一面に触れてみませんか？

教授	フランス文学・思想
<b>逸見 龍生</b>	HEMMI Tatsuo
「光の世紀」と原語でいわれる新しい時代を求めたフランス18世紀の思想家たちの著作を主に研究しています。ゼミではフランス語文化のもつ魅力と奥行きを幅広くとらえます。フランス語をしっかりと身につけたうえで、作家のことばの一つ一つを正確に読み解いたり、歴史に散歩したり、芸術に結晶されたその美意識や感受性をあじわう。その世界は万華鏡のように多様で、深みがあります。フランス語圏の社会や文化の世界にわけいる楽しさ、ヨーロッパ、そして他の文明圏の伝統や現在と、精神的交流をする喜びを、ともに経験していきましょう。	

准教授	中国語学
<b>干野 真一</b>	HOSHINO Shinichi
中国語学の授業を担当しています。口語語彙の変遷、特に前置詞に関心があり、歴代の文学作品などに見られる用例をもとに考察しています。中国語を学び初めのころは、徹底して音声体を体にしみ込ませ、音に対する反応を磨きましょう。文法を学ぶ際は、日本語や英語など、他の言語との違いにも目を向けてみましょう。言語表現には、その言語の世界の切り取り方が反映されていますから、中国語的なものの見方に迫ることが、学ぶ楽しさ、多様な価値観の修得につながります。	

准教授	現代日本語論
<b>三ツ井 正孝</b>	MITSUMI Masataka
日本語(主に近現代語)を対象として、語彙や文法を中心に学んでいます。例えば、「壊す」には「壊れる」と、似た形の語があるのに、「食べる」にはない。これはなぜだろうか?〈「文法について勉強する」と「文法を勉強する」とは何か違いがあるのだろうか?〉〈明治や大正の文章には、私たちの使わない言い方があらわれる。現代に至るまでにどんな変化をしたのだろうか?〉そんなことを、日々、学生たちと考えています。	

准教授	アジア文化
<b>外国人教員</b>	
毎年、人文学部と交流協定のあるアジアのいろいろな大学の教員が、アジアの言語文化に関する講義や外国語の授業を担当しています。	

## 人文学部所属教員

助教	人文社会情報学
----	---------

## 山田 斗志希

YAMADA Toshiki

情報技術を活用し、言葉・創作・教育に関わる現象を研究しています。たとえば、テキストマイニングでキャラクターのセリフを分析し、キャラクターづくりに伴う価値観とそれを表す言葉遣いを明らかにしてきました。また、情報教育の実践と調査研究も進めています。「情報」を軸に、私たちの営みを一緒に探究してみませんか。

助手	
<b>永木 敦子</b>	EIKI Atsuko
中国に留学に行く皆さんや、中国から人文学部に来る留学生の皆さんのお手伝いをしています。また人文学部合同資料室の雑誌や書籍などの管理も担当しています。資料について何かわからないことがありましたら、気軽にお尋ねください。	

# 国際交流・大学間交流

開かれた知的ネットワークの住人になる

● 新潟大学が結んでいる大学間交流協定 ▲ 人文学部が結んでいる部局間交流協定 ■ 学生交換協定がある大学 \*2025年5月31日現在

## ドイツ

- ダルムシュタット工科大学
- ビーレフェルト大学
- ▲ ビーレフェルト大学  
言語学・文学部及び歴史・哲学・神学部
- マグデブルク・オットー  
フォンゲーリック大学
- ▲ ルール大学ボーフム東アジア学部
- ミュンスター大学

## フランス

- ナント大学
- ▲ リヨン高等師範学校
- ボルドー大学
- ▲ ジャン・ムーラン・リヨン第3大学

## イギリス

- シェフィールド大学
- プリントン大学
- ▲ プリントン大学文学部

## スペイン

- マドリッドコンプルテンセ大学
- ナバラ州立大学

## トルコ

- アンカラ大学
- 中東工科大学
- エーゲ大学

## イタリア

- ラクイラ大学
- ミラノ大学

## ポーランド

- ウッジ大学
- コズミンスキー大学

## クロアチア

- スプリット大学

## オランダ

- ワーヘニンゲン大学

## リトアニア

- ヴィリニウス大学

## ロシア

- ▲ 国立極東人文大学
- サント・ペテルブルク大学
- ▲ 極東連邦総合大学東洋学院
- 沿海地方国立農業アカデミー
- 極東国立農業大学
- モスクワ国立大学
- 太平洋国立大学
- モスクワ国立第一医科大学
- 極東連邦大学

## インド

- コーチン科学技術大学
- インド理科大学大学院
- インド工科大学ルーキー校
- インド宇宙科学技術大学

## スリランカ

- ヘラデニア大学

## タイ

- コンケン大学
- ▲ スリン地域総合大学
- チェンマイ大学
- タマサート大学
- チュロンコン大学
- カセサート大学
- モンクット王工科大学トンブリ校
- ナレースワン大学

## フィリピン

- アテネオ・デ・マニラ大学

## インドネシア

- ウダヤナ大学

## ベトナム

- ハノイ工科大学

## カンボジア

- 王立プノンベン大学

## ラオス

- ラオス国立大学

## 中国

- 華中科技大学
- 華中師範大学
- ▲ 華中師範大学外国語学部
- ▲ 華東師範大学国際漢語文化学院
- ▲ 華東理工大学公共社会管理学院
- ▲ 吉林大学東北アジア研究院
- 黒竜江大学
- 湖南大学
- 湖北大学
- ▲ 首都師範大学歴史学院
- 西安交通大学
- 清華大学
- ▲ 清華大学人文学院
- ▲ 清華大学人文学院歴史学部
- 大連理工大学
- 中央民族大学

## モンゴル

- モンゴル医科学大学
- モンゴル生命科学大学
- モンゴル国立大学
- モンゴル科学技術大学
- モンゴル教育大学

## 台湾

- 義守大学
- 国立中央大学
- 国立彰化師範大学
- 国立成功大学
- 国立台湾師範大学
- 国立高雄師範大学
- 国立高雄大学
- 静宜大学
- 中原大学
- ▲ 長栄大学人文社会学院
- 東呉大学
- 南台科技大学
- 文藻外語大学

## 韓国

- ▲ 翰林大学校人文大学
- ▲ ソウル大学校人文大学
- 漢陽大学
- 仁荷大学
- ▲ 仁荷大学校文科大学

## オーストラリア

- シドニー工科大学

## アジア太平洋地域

- アジア太平洋大学交流機構

## アメリカ

- イリノイ大学シカゴ校
- オレゴン大学
- ミネソタ大学
- カンザス州立大学
- ▲ ニューヨーク州立大学フレドニア校
- ロードアイランド大学
- ロズウェルパーク癌研究所

## カナダ

- アルバータ大学

## 国内の協定大学

- 単位互換協定  
敬和学園大学人文学部  
新潟国際情報大学  
(国際学部、経営情報学部)

## 学部間協定

- 愛媛大学法文学部  
岩手大学人文社会科学部

## 留学生の声

### 肌で感じた中国留学

仁平 信孝

中国語学 4年



私は中国の黒竜江大学に2学期間留学しました。在籍していた国際文化教育学院(留学生向けの学部)では、必修科目で中国語の4技能を、選択科目で中国概況や新語などを学びました。中国特有の「早八(朝8時開始の授業)」に苦しめられる傍ら、長期休暇を利用して東北各地を旅行しました。特に印象的だったのが、吉林省朝鮮族自治州延吉市。街の至る所に中国語と朝鮮語が併記されており、56の民族が暮らす中国の多様性の一端を感じました。また、標準的な中国語ばかりに触れてきた私にとって、現地の訛りも新鮮でした。ある日タクシーで運賃を尋ねたところ、運転手の「14塊」が「40塊」に聞こえ、思わず「何でそんなに高いんですか?」と言ってしまったこともありました。実際に自分の肌で中国を感じたという思いで決断した留学でしたが、「不要」と言わなければ大体入っているパクチーと唐辛子、現金を使う機会がほとんどないほど普及しているバーコード決済、少し不自由だけれど活気に溢れた大学生活など、様々な面から中国という国を感じる事ができました。

### 挑戦の先に見えた景色

—ドイツ留学と出会いの中で

鈴木 歩

英米言語文化・副専攻ドイツ語 4年  
ルール大学ボーフム留学中



みなさんは「ドイツ」と聞いて何を思い浮かべますか? 私は4年の後期からボーフム大学で1年間の交換留学に挑戦しています。副専攻のドイツ語を深め、多様性を難民・移民の視点から学ぶためにドイツ留学を決断しました。費用や就活の不安もありましたが、様々な奨学金制度や「挑戦をしない後悔はしたくない」という私の中の強い思いが小さな背中を押してくれました。現地での生活は全てが新鮮で、スーパーの品揃えも、洗濯機のモード設定も、電車やバスの使い方も何もかもが異なります。パンやビール、ソーセージは驚くほどおいしく、クリスマスマーケットではその美しさに感動しました! ヨーロッパでの生活を通して日々感じることは、「私たちは歴史の延長線上に生きている」ということです。歴史的な街並みを歩くたびに、当時の人たちの生活に思いを馳せる瞬間がとてもワクワクします。多様な出会いや経験に恵まれ、挑戦できたことに心から感謝しています。手厚い留学支援が魅力の新潟大学で、新たな自分の可能性に挑戦してみませんか?

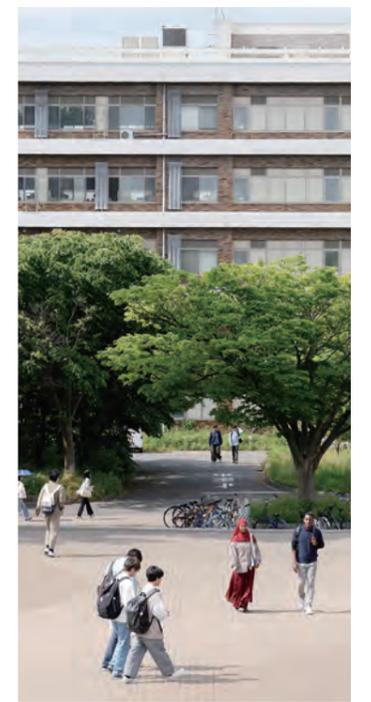
### 新潟での充実した留学生活

ティモフェイ・カピチニコフ

ロシア サント・ペテルブルク大学



私の名前はティモフェイ・カピチニコフ、20歳です。ロシアのサント・ペテルブルク大学から新潟大学に来ました。新潟大学では、自分でカリキュラムを組むことができ、さまざまな興味深く有益な分野を学ぶことができました。そして何より、日本語をできるだけ学び、日本文化に浸り、日本の伝統や習慣を理解したいと思っていました。そうして、日本語の文法を勉強し、日本語の文章を読み、経済や政治など日本社会のさまざまな側面を理解できるように努めました。在学中は、バレーボールが好きなので、新潟大学バレーボール部に入部しました。バレーボール部では、新潟のことをたくさん教えてくれたり、面白い場所やおいしいレストランを教えてくれたり、いつも私の面倒を見て助けてくれたりする面白い人たちに会いました。バレーボール部では日本人の友だち以外にも、いろいろな国の人と出会いました。彼らとのコミュニケーションも、異文化について学ぶことが多く、とても興味深かったです。新潟大学で勉強している間、私はロシア語の学生のための会話クラブ(ロシア語チャット)を組織しました。そこで出会った友人たちもいつもとても親切にしてくれて、日本の伝統的な祝祭・儀礼にも連れて行ってくれました。最後になりますが、このような素晴らしい大学で勉強する機会を与えてくださった新潟大学の方々にとても感謝しています。また、いつも私の面倒を見てくれ、日本の文化や生活について学ぶ手助けをしてくれた友人たちにも感謝しています。日本で勉強したいと思っているロシアの知り合いに、新潟大学を勧めたいと思います!



## 公認心理師 社会の中で働く「心の専門家」の国家資格

公認心理師になるには、医療・福祉・教育・司法・産業などの分野で心理に関する支援や相談を行うための専門的知識・技術を学びます。まず大学で必要な科目を修めて卒業し、さらに大学院で必要な科目を修めて修了するか指定施設での実務経験を経ると、公認心理師試験の受験資格が得られます。なお、新潟大学大学院は公認心理師に加えて臨床心理士に対応しています。

### 「心について考える」を仕事に 公益財団法人金森和心会 針生ヶ丘病院 発達心理課 河合 瑞季



心について興味をもったことはありますか？ 私は高校生の頃にカウンセラーの仕事に興味をもち、人文学部に進学しました。人文学部で学べる心理学は、人はどのように見たり聞いたり、感じているのかから学びます。これは心の不調や臨床心理学などから遠いものを感じられるかもしれません。しかし、私は心について考えていく上で基盤となるものだと思います。例えば、子どもたちは言葉で表現する力が十分でないため、行動をよく観察する必要があります。その子が何を、どう感じて、行動したのか、一つ一つ考える時に学部で学んだことを思い返します。私が心理の仕事に携わっているのは、心理学のおもしろさを感じられた人文学部での学びと友人や先生方との出会いがあったからこそです。ぜひ、人文学部で心理学のおもしろさ、楽しさを体感してください！

## 学芸員 黒子のインフルエンサー

モノを通じて、地域の歴史や暮らしの変遷を子どもから大人までわかりやすく伝える。地域にゆかりある芸術家の作品を通じて、見る人に驚きや発見をもたらす。陰に陽に訪れる人々に影響を与える仕事。それが、博物館や美術館で働く学芸員の仕事です。新卒での採用は狭き門ですが、夢を叶えている先輩が何人もいます。挑戦あるのみ！

### 歴史民俗資料館の専門職員として 仙台市歴史民俗資料館 学芸員 渡邊 直登



皆さんは日々の暮らしを営む中で、自分自身や周囲の人々が行っている行為にはどのような意味があるのだろうかという疑問に思うことはありませんか。幼少期から「死とは何か」という漠然とした疑問を抱いていた私は、大学に進学する頃には死そのものよりも、葬式や墓の建立、墓参りなど死者を葬り記す行為とその意味に関心を抱くようになり、それが民俗学を専攻するきっかけとなりました。大学院修了後は仙台市歴史民俗資料館において、展示事業や資料の収集、調査研究、市民向け講座の講師など、さまざまな学芸業務に従事しています。新潟大学で民俗学を専攻したことによって得られた知識と経験を基礎とし、調査地を歩き回って行う観察と人々の語りから得られた地域の生活文化に関する知見を、展示や講座などをとおして市民に伝え、その面白さ、魅力に気付いてもらえたとき、民俗学をとおした社会貢献ができていると感じます。

## 可能性をひろげる 人文学部で取得できる資格

人文学部では、幅広い学問分野を学びながら、社会で活かせるさまざまな資格を取得することができます。人文学部の授業を履修することが取得条件およびその一部になっている資格を紹介します。

## 教員免許状 希望を育て、未来へ送る

生徒たちの成長に力を貸すことで、次の時代を共に作っていく魅力ある仕事。近年、力のある教員を求める声が高まっています。中学校、高等学校(社会、地理歴史、公民、国語、英語、フランス語、ロシア語、中国語)の教諭一種免許が取得可能です。資格取得のために履修が必要となる単位は増えますが、その多くは卒業要件、専門の研究と関わるものとなっています。

### 探究は続くよどこまでも 新潟市立万代高等学校 教諭(国語科) 高頭 勇貴



高等学校では「総合的な探究の時間」をはじめ、「探究」と名前についた科目がいくつも開設されました。小・中学校でも探究学習が行われています。「探究をどうすればよいのか」と現場の教員は悩んでいますが、その問いを解決する糸口は「大学での学び」にこそあると考えます。なぜなら、「大学での学び」がそもそも探究的だからです。自分で問いを設定し、調べて、レポートにまとめたりゼミで発表したりして、思考を巡らす経験は、直接、教育現場で生かれます。AIの発達により、「それなりの答え」がすぐに出る社会になりました。これからの時代の教師の魅力は、生徒たちと一緒に、AIさえ出せない「未知の答え」に向かって探究し続けられるところにあると思います。未来の若者と共に人文知を耕していく同志が増えることを心から期待しています。

## 社会調査士 ヒト・モノ・コトを正しくつなぐ「社会調査の専門家」

商品販売から世論調査まで、さまざまな場面でアンケートやインタビューなどによる社会調査が行われるようになってきました。しかし、実際には現実を歪めるような調査も少なくありません。そこで、社会調査を正しく行い、調査結果を正しく解釈できる人材を認定する社会調査士資格が誕生しました。主に行政やコンサルタント、マスコミなど、社会調査に関わる職を目指す学生が挑戦しています。

### 置かれた場所で柔軟に楽しむ 公益財団法人 東京都福祉保健財団 相田 ひな子



私は就活時、家族に障がいを持つ弟がいたこともあり福祉業界を志望しました。現在は、東京都福祉に関わる方へ支援を行う職場で働いています。最初の配属は財務室で、今では電卓とにらめっこする毎日です。予想もしなかった部署でしたが、まずは社会人としての経験をつけることから始めています。そこでも、社会調査士の資格取得を通して得られた適応力が支えられています。なかでも、社会調査実習や卒論執筆におけるインタビューの経験は大きな収穫でした。様々な方のお話を聴く中で見識が広がり、相手の立場に立つ意識も身に付いたと感じています。結果、どのような場所でも柔軟に人や集団と関わる適応力を得ることができました。今後は、さまざまな支援のあり方を検討する場面でも社会調査士のスキルを活かしていきたいです。社会調査士の資格は、就活時に武器となるのはもちろん、資格取得の過程で得られる経験は、どのような進路を選択しても必ず役立つことと思います。社会調査士、取得してみませんか。

### 人文学部で取得・認定支援が受けられるその他の資格

- 図書館司書 ●社会福祉主事任用資格 ●情報セキュリティマネジメント資格 ●各種語学検定 など

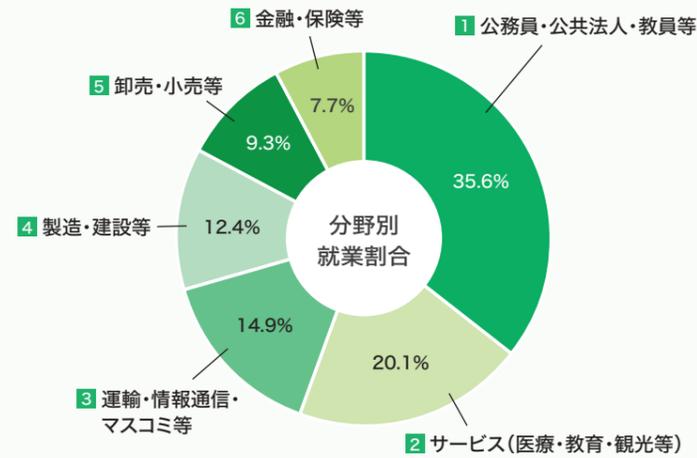
# 就職データ

## 就職状況(過去3年間)

令和4年度卒業生 令和5年5月1日現在  
就職率 **100.0%** (男100% 女100%)

令和5年度卒業生 令和6年5月1日現在  
就職率 **95.7%** (男96.2% 女95.4%)

令和6年度卒業生 令和7年5月1日現在  
就職率 **99.0%** (男98.9% 女99.1%)



## 近年の主な就職先

### 1 公務員・公共法人・教員等

- 国家公務員(総合職) ● 国家公務員(一般職) ● 都道府県庁 ● 市役所 ● 東京都特別区 ● 町村役場
- 国立大学法人 ● 公立大学法人 ● 学校法人 ● 農業協同組合 ● 中高教員 ● 学芸員 など

### 2 サービス(医療・教育・観光等)

- マイナビ ● D.A.コンソーシアム ● アウトソーシング ● イオンディライト ● 旭化成ホームズ ● 積水ハウス ● リゾートトラスト
- 総合メディカル ● RIZAPグループ ● 日本年金機構 など

### 3 運輸・情報通信・マスコミ等

- サイバーエージェント ● 楽天 ● KDDIエボルバ ● NTTデータ ● SCSK ● TISソリューションリンク
- 富士通エフ・アイ・ピー・システムズ ● 日立社会情報サービス ● 東日本旅客鉄道(JR東日本) ● 日本貨物鉄道(JR貨物) など

### 4 製造・建設等

- 本田技研工業 ● いすゞ自動車 ● 東京電力ホールディングス ● 東北電力 ● 北海道電力 ● SUMCO ● THK新潟
- コカ・コーラボトラーズジャパン ● シャトレーゼ ● 三井住友建設 など

### 5 卸売・小売等

- アマゾンジャパン合同会社 ● ニトリホールディングス ● ヤマダホールディングス ● イオンリテール ● クスリのアオキホールディングス
- ベイシア ● コメリ ● リコージャパン ● コニカミノルタジャパン ● アクシアルリテイリング ● トップカルチャー など

### 6 金融・保険等

- みずほフィナンシャルグループ ● 三井住友信託銀行 ● 第一生命保険 ● 日本生命保険相互会社 ● 明治安田生命保険相互会社
- 東京海上日動火災保険 ● こくみん共済Coop ● イオンフィナンシャルサービス ● 七十七銀行 など

## 大学院進学者数

令和4年度卒業生11名 令和5年度卒業生19名 令和6年度卒業生14名

### [進学先]

新潟大学/北海道大学/弘前大学/東北大学/山形大学/福島大学  
東京大学/一橋大学/筑波大学/金沢大学/名古屋大学/大阪公立大学  
京都大学/広島大学/岡山大学/九州大学/法政大学/新潟青陵大学

※より詳細な就職先については、  
学部ウェブサイトをご覧ください。



## 卒業生の声

### 自分の興味を大切に

青森県庁  
大瀬 綾乃



高校生の進路選択の時、特に将来の夢もなく、最初は法学部や経済学部なら就職に役立つかなと考えていました。その後、心理学を専攻できる大学があると知り、心の仕組みを学んでなんか面白そう!という単純な理由で、心理学を専攻しようと決めました。4年間で特に印象深いのは、心理学実験です。日常生活や先行研究から浮かんだ疑問に対して、自分で実験を組み立て、結果を客観的に分析し、わかりやすい文章でまとめます。難しいですが、奥が深く非常にやりがいがありました。この経験から、仕事でも説得力のある資料作りを心がけています。私は少しの興味から、心理学という、人間を、ひいては自分自身を紐解くことのできる学問と出会うことができました。ぜひ、皆さんも自分の興味が惹かれる方へ進んでみてください。

### 日本の芸能を学ぶ

東京リスマチック株式会社  
甲斐 彩葉



私は日本の芸能について学ぶ芸能論ゼミに所属していました。高校の修学旅行で能を鑑賞したことがきっかけで、能をはじめとする日本の芸能に興味を持ちました。卒業論文は近代の能を題材にし、近代に新作された能がどのように上演・評価されたかを、当時の雑誌・新聞記事から調査しました。膨大な史料一つ一つを丁寧に読み解きまとめあげていくという経験は、社会人となった今でも役に立っています。私は印刷会社に就職しましたが、印刷の知識やDTPスキルは全くありませんでした。しかし、この地道に物事に取り組んだ経験を大切にすることで、未経験ながらも日々の業務をこなすことができている。大学で学んだことは、卒業してからも自身の支えになってくれると思います。学生生活が実り多いものになるよう応援しています。

### 学びを日常に落とし込む

秋田魁新報社 記者  
佐藤 千華



近現代の日本語について学ぶゼミに所属していました。ゼミの時間を通して、日常の中の言葉に敏感になったと感じています。例えば、スーパーで購入した商品の「ハサミを使用すれば開けやすくなります」という表記に対し、「ハサミを使用すると」の方が自然だと感じ、先生や友人に話したことがありました。一方が正しくて一方が間違っているという考えではなく、なぜ感じ方に違いが出るのかを考えることが大切だと学びました。卒業後は、秋田県の新聞社・秋田魁新報社で記者として働いています。新聞において言葉が担う役割は大きく、限られた字数の中での確かな言葉で情報を伝えなければなりません。日本語学の修学を経て、見過ごしてしまうような言葉の差異も意識できるようになりました。大学での学びが仕事へつながっていることを日々実感しています。

### 学びがくれた世界の見方

住友電装株式会社  
趙 潔玲



私は芸術学を学び、趣味であった写真撮影について研究していました。卒業後は、自動車部品メーカーに就職し、まったく異なる分野で働いています。社会人になったばかりの頃、私自身も「大学で学んだことは今の仕事に関係あるのかな?」と思うことがありました。しかし、「学ぶ」というのは知識だけでなく、自分の考え方、経験、能力を育てる時間でもあると今では感じています。大学時代に身につけた発表の経験は、入社後にしっかり活かされたり、芸術学を学ぶ中で養った「客観的に見る力」と「自分の感性を大切にできる力」は、仕事の中でも役立っています。大学での芸術学の学びは、私に「芸術」や「写真」そのものへの知識と愛着を深めてくれただけでなく、「自分なりの世界の見方」を与えてくれました。皆さんも、大学での学びを通して、自分だけの「世界を見つめる目」を見つけてください。

### 多様な視点を育む

国立大学法人新潟大学 図書館職員  
久田 拓未



人文学部で西洋古代史を専攻し、歴史学の面白さに魅了された私は、新潟大学大学院に進学し研究を深め、修士号を取得しました。現在は、新潟大学附属図書館に勤務し学生や教員の調査・研究のお手伝いをしており、私生活では今も少しずつ研究を続けています。歴史学では時々、過去の事実を伝える資料(=史料)が新たに発見されたり、それまでの研究とは異なる視点から史料を見直したりすることで、正しいと思われていた説が一気に覆されるような事態が発生します。学生時代は、新発見はできなくとも、既存の史料たちと地道に向き合うことで、私も自分なりの解釈を組み立てようと奮闘していました。その中で得た「多様な視点から物事をとらえる力」は、社会に出た今も、何かで行き詰まったときに別の道を指示してくれる大切なスキルになっています。

### 文学が心の支えとなる

米沢市役所  
東條 祐貴



大学ではイギリスやアメリカの文学を学びました。卒業して8年目になりますが、社会に出ると、どうしても楽しいことばかりではありません。3年前、これまで生きてきた中でとても辛いことがありましたが、詩や小説に触れ、支えとなる言葉を拾い集めることで、自分自身を取り戻し、何とか乗り切ることができました。就職に有利だとか、資格が取れるだとかいった、目に見える分かりやすさは文学にはありません。しかし、物語の登場人物や詩人たちと無言の会話を交わしていく中で、自分が自分であることのできる心の居場所を作り上げていくことができます。そんな喜びを堪能できるのも文学を専攻する大きな意義だと思います。これから人生の酸いも甘いもかみ分けていく皆さん、大学で学んだ文学作品があなたに寄り添い、人生の支えとなってくれるはずです。